

Jリーグ ホームタウン活動調査 2017年版



2018年3月
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ



54
CLUBS

調査概要 (1/3)

- 本調査は、2017年にJ1・J2・J3の54クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計したものです。
- 2016年版から下記の集計ルールを採用しています。
- クラブによるルール解釈・報告精度の違いを調整できていないため、あくまで参考値としてご覧ください。

期間	2017年1月1日から12月31日					
場所	制約なし。災害被災地や海外で実施した活動を集計する。					
活動者	クラブ（株式会社、および関連する社団、NPOなど）に所属し、または直接の契約を有し、またはクラブを公式に象徴する、あらゆる者による活動を集計対象とする。					
	<table border="1"><thead><tr><th>対象とする (A)</th><th>対象としない</th></tr></thead><tbody><tr><td><ul style="list-style-type: none">・ 選手（トップ、女子、アカデミー）・ 監督、コーチングスタッフ（トップ、女子、アカデミー、普及、スクール）・ クラブの役員、職員・ アンバサダー、マスコット、公式チアチーム・ エアゴールなど、クラブを象徴する備品の貸し出しは、集計対象とする</td><td><ul style="list-style-type: none">・ 提携先の学校、クラブ、少年団等に所属する選手、監督コーチングスタッフ、役職員等・ クラブの外部株主・ 外部の支援団体（自治体、町内会、商店会、企業、学校、サポーター、ボランティア等）で、（左記）の（A）が参加しない場合</td></tr></tbody></table>	対象とする (A)	対象としない	<ul style="list-style-type: none">・ 選手（トップ、女子、アカデミー）・ 監督、コーチングスタッフ（トップ、女子、アカデミー、普及、スクール）・ クラブの役員、職員・ アンバサダー、マスコット、公式チアチーム・ エアゴールなど、クラブを象徴する備品の貸し出しは、集計対象とする	<ul style="list-style-type: none">・ 提携先の学校、クラブ、少年団等に所属する選手、監督コーチングスタッフ、役職員等・ クラブの外部株主・ 外部の支援団体（自治体、町内会、商店会、企業、学校、サポーター、ボランティア等）で、（左記）の（A）が参加しない場合	
対象とする (A)	対象としない					
<ul style="list-style-type: none">・ 選手（トップ、女子、アカデミー）・ 監督、コーチングスタッフ（トップ、女子、アカデミー、普及、スクール）・ クラブの役員、職員・ アンバサダー、マスコット、公式チアチーム・ エアゴールなど、クラブを象徴する備品の貸し出しは、集計対象とする	<ul style="list-style-type: none">・ 提携先の学校、クラブ、少年団等に所属する選手、監督コーチングスタッフ、役職員等・ クラブの外部株主・ 外部の支援団体（自治体、町内会、商店会、企業、学校、サポーター、ボランティア等）で、（左記）の（A）が参加しない場合					

調査概要 (2/3) 活動内容

対象とする	対象としない
<ul style="list-style-type: none"> 企業での講話、講演 地域振興団体*への表敬訪問 地域振興団体*主催の大規模パーティ、懇親会への出席 豆まきへの参加（地域の催事への協力） 	<ul style="list-style-type: none"> 企業や店舗への表敬訪問、または商談 地域振興団体*との事務的な協議 一般的な、またはプライベートな食事会・懇親会 必勝祈願（クラブの行事）
	<ul style="list-style-type: none"> ちらし等の配布、またはポスティング グッズ売り場での販売補助 試合会場、トレーニンググラウンド（キャンプ地を含む）におけるファンサービス
<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・地域貢献に関する取材対応 地方振興団体*の広報への協力 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツに関する取材対応
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者など、社会的弱者を試合に招待 チャリティ目的の選手シートの設置 クラブとしての寄付、及び物品寄贈 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な試合招待事業
<ul style="list-style-type: none"> クラブと無関係の選手個人の活動 巡回指導など、無償の普及活動 サッカー以外のスポーツ振興活動 介護予防事業 	<ul style="list-style-type: none"> Jリーグ公式行事への参加 クラブが主催する、支援者またはファン・サポーター向け行事への参加（ビジネスパーティ、入団会見、ファン感謝デー、ファン向けトークショーなど） 研修やセミナーの受講

* 地域振興団体：自治体、商工会、青年会議所、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、経済同好会、商店会、自治会、及びその外郭団体。並びにクラブを応援する地域の集まり（ホームタウン連絡協議会など）。

**年間を通して毎日稼働する活動（スポーツチームの保有、医療センター開設など）は、1件として報告する。その際、活動内容/名称欄に（チーム）（常設）などと付記する。但し学校訪問など、その都度訪問先が異なる場合は、従前通り一訪問先毎に報告する。

調査概要 (3/3) 活動ジャンル

大項目	活動ジャンル
スポーツ×健康	サッカー普及 地域スポーツ振興 食育 健康（介護予防を含む） 医療 その他
Jクラブ×地域振興	地域・産業 道路・交通 まちづくり 観光 国際交流 その他
Jクラブ×社会課題	環境 人権・ダイバーシティ 教育・啓発 復興支援 その他

54クラブの活動領域分布

Jクラブ×社会課題

10.0%

1,784回

21.1%

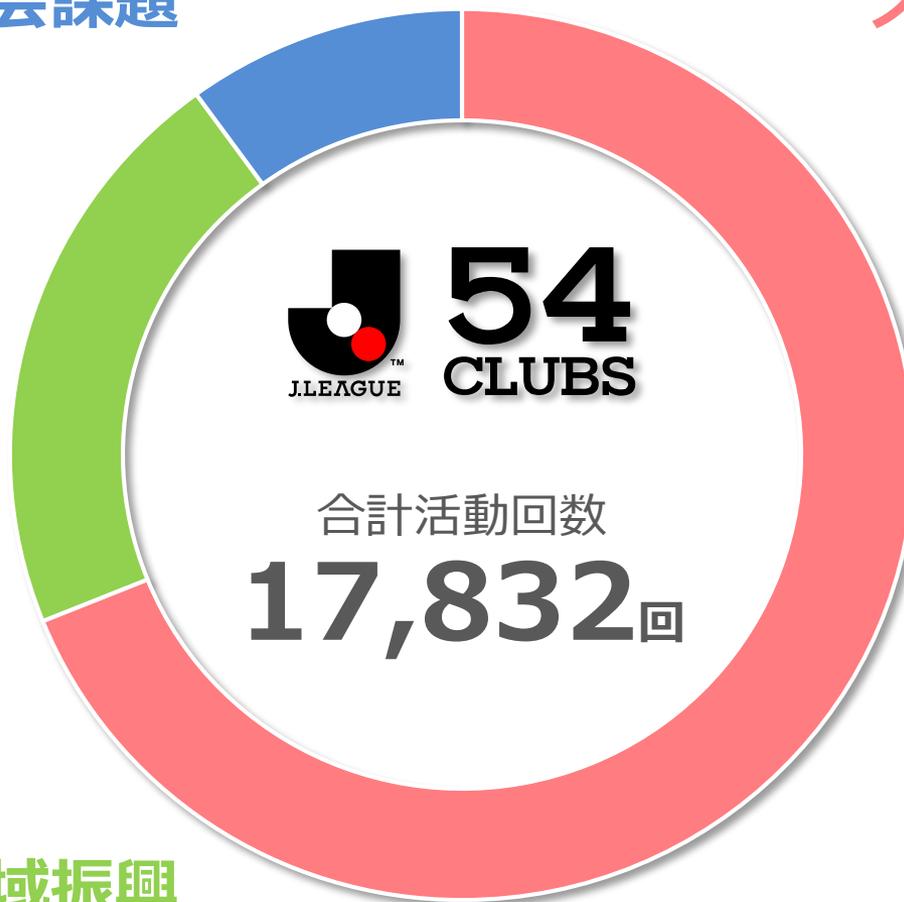
3,762回

Jクラブ×地域振興

スポーツ×健康

68.9%

12,286回

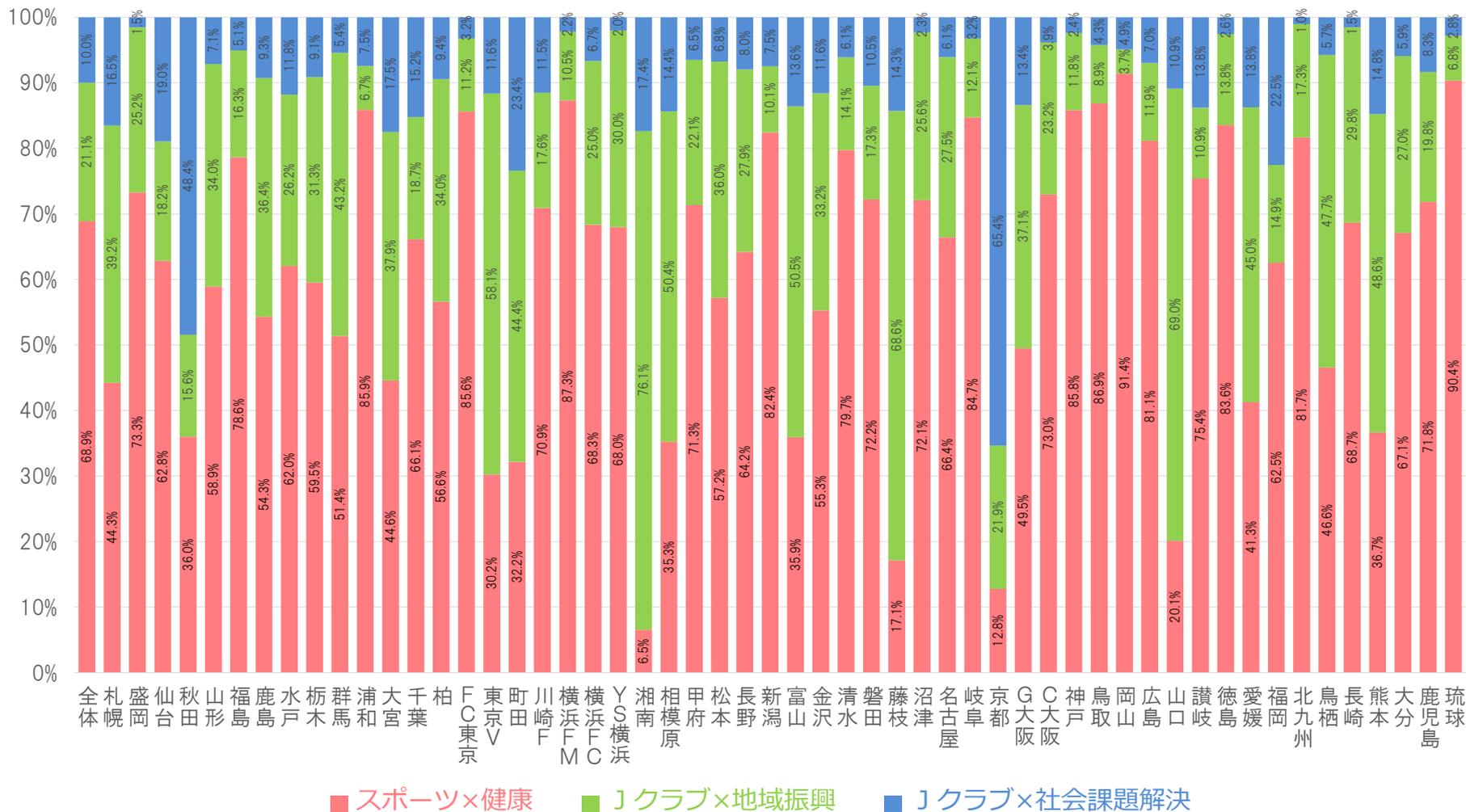


330回/年

1クラブ平均

*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

54クラブの活動領域分布 (クラブ別)



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。
 *小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

北海道コンサドーレ札幌 (活動領域分布)



ホームタウン

札幌市を中心とする北海道

Jクラブ×社会課題

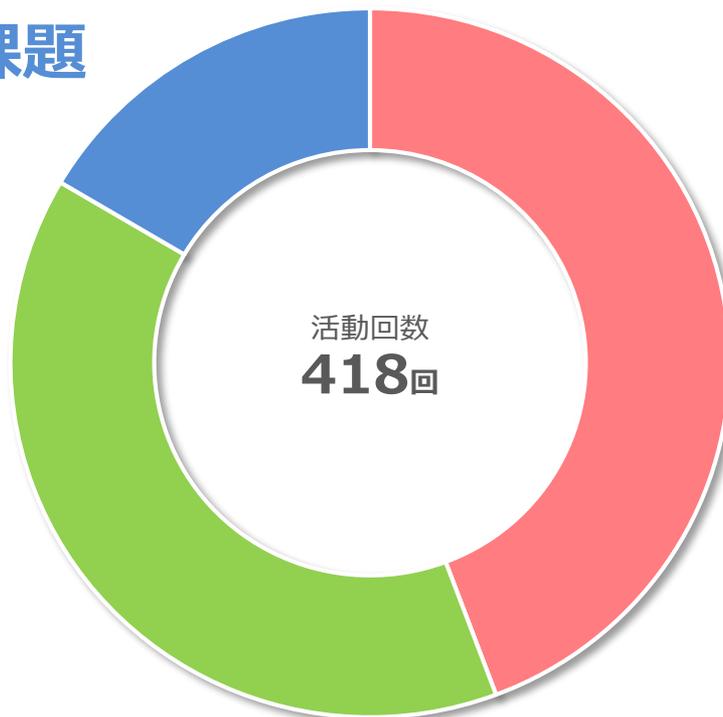
16.5%

39.2%

Jクラブ×地域振興

スポーツ×健康

44.3%

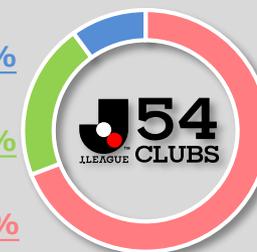


54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

札幌市を中心とする北海道

コンサタウンふれあいフェスタ



日 時 : 2017年8月19日 (土) 13時~20時
開催場所 : 宮の沢公園 (宮の沢白い恋人サッカー場隣接)
主 催 : 西町地区夏祭り・盆踊り実行委員会、行政、自治会 (西町連合町内会)、行政外郭団体、商工会議所・商店会 (西のコンサ通り商店会)、コンサドーレを含む地元企業、教育福祉機関等
参加者数 : 約5000人
(札幌市内町内会行事でも最大規模の集客数)

内 容 : 盆踊り、花火打ち上げ、参加型アトラクション、地元特産市場、スタンプラリー、小学生総合学習、防災教育、YOSAKOIソーラン演舞などが行われました

福祉施設訪問サンタ隊



実施日 : 2017年12月5日 (火) ~12月22日 (金)
実施場所 : 全23施設
病院、養護学校、高齢者施設、障がい者施設、児童施設など
参加者数 : 約1500名
内 容 : ドーレくん&コンサドルズによるダンス披露、参加者とのPK対決や質問コーナー等のふれあい、クリスマスプレゼントの贈呈

クラブからの参加者 :
金山隼樹選手、深井一希選手、上原慎也選手、前寛之選手、福森晃斗選手、早坂良太選手、進藤亮佑選手、濱大輝選手、菅大輝選手、ドーレくん、コンサドルズ

グルージャ盛岡（活動領域分布）



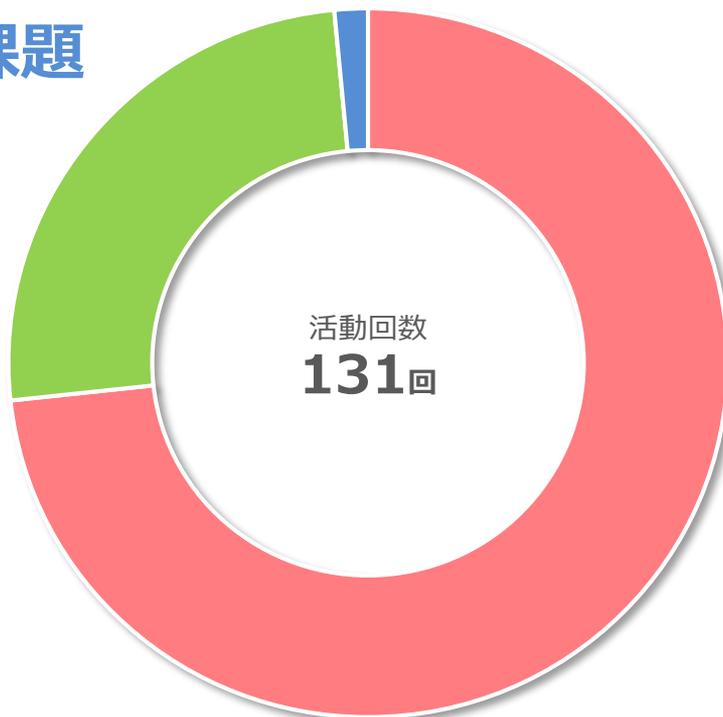
ホームタウン 岩手県／盛岡市・北上市・宮古市・大船渡市・花巻市・久慈市・遠野市・一関市・釜石市・
二戸市・八幡平市・奥州市・滝沢市・雫石市・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町・西和賀町・金ケ崎町・
平泉町・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・普代村・軽米町・野田村・九戸村・洋野町・一戸町を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

1.5%

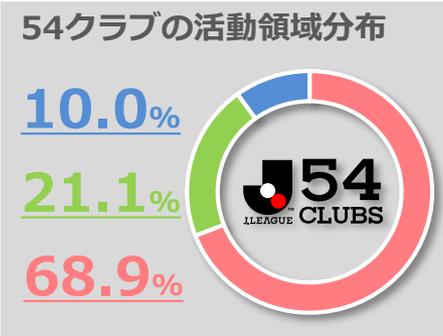
25.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

73.3%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。
*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。
*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン 岩手県／盛岡市・北上市・宮古市・大船渡市・花巻市・久慈市・遠野市・一関市・釜石市・

二戸市・八幡平市・奥州市・滝沢市・雫石市・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町・西和賀町・金ケ崎町・
平泉町・住田町・大槌町・山田町・岩泉町・田野畑村・普代村・軽米町・野田村・九戸村・洋野町・一戸町を中心とする全県

岩手県立盛岡青松支援学校との交流



2016年より学校訪問および交流会や、全ホームゲーム時のアウェイチーム選手名板を作成作業をお願いするなど幅広く交流しています。学校訪問では、ゲームや選手による体幹トレーニング、質問コーナーなど、生徒や職員の皆さんとの交流を行っています。また、9月20日(水)に訪問した谷口選手は、「9.24アスルクラロ沼津戦で必ずゴールを決める」約束をし、ゴールパフォーマンスをどうするかをみんなで話し合い、ゴールを決めた時は「ゴリラ」のパフォーマンスをすると約束し、見事、沼津戦で谷口選手はゴールを決め、約束を果たしました。

盛岡少年院 サッカー指導訪問



グルージャ盛岡では、青少年の育成、少年たちの社会復帰の後押し、再犯抑制などを目的に、トップチームの選手が盛岡少年院を訪問し、サッカー教室(指導)を実施しています。コーディネーショントレーニング、ドリブル練習、パス練習、最後には選手とPK対決など、サッカーを通じ、毎年、盛岡少年院の皆さんと交流しています。

ベガルタ仙台（活動領域分布）



ホームタウン

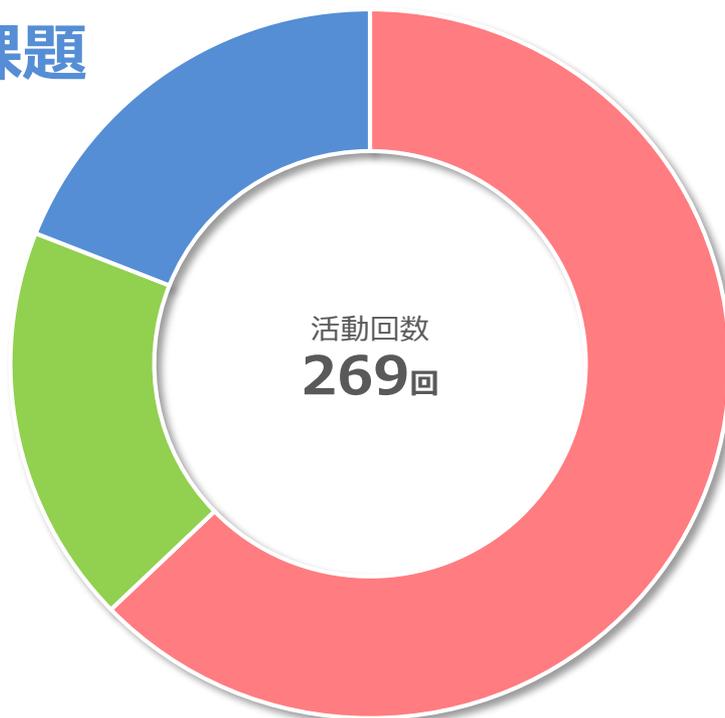
宮城県／仙台市

Jクラブ×社会課題

19.0%

18.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

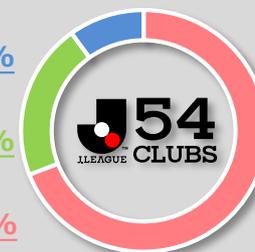
62.8%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

ベガルタ仙台 (トピックス)



ホームタウン

宮城県／仙台市

ベガルタ仙台の選手と遊ぼう！



サッカーに限らず、トランプやかるた、ドッチボールやバスケットボールなど、いろんなスポーツや遊びで選手と放課後を楽しく過ごす活動です。

目的： サッカーに興味がない子どもにも、ベガルタ仙台、ベガルタ仙台の選手、サッカーに興味を持ってもらうきっかけの場とする。

対象： 県内の児童館、小学校、支援学校など

実績： 2017年計6回実施。延べ374名の子どもが参加

アトラクション：

アトラクション、サッカー、バスケットボール、ドッチボール、かるた、トランプ、宿題、けん玉など

復興支援活動 (被災地唯一のJ1クラブとして出来ること)



- ①宮城・東北Dream Project @ユアテックスタジアム仙台
- ②全選手での被災地訪問@名取市閑上地区
- ③復興支援ini石巻マイナビカップレディース U-15にビジュアルレディーズU-15を招聘
- ④南三陸ハマレ歌津オープニング@南三陸町
- ⑤介護予防事業健康体操教室@裏沢田集会所

プロサッカーチーム・プロスポーツクラブならではの復興支援策。
サッカーの力、スポーツの力で、復興・復幸・復活！！！！

ブラウブリッツ秋田（活動領域分布）



ホームタウン

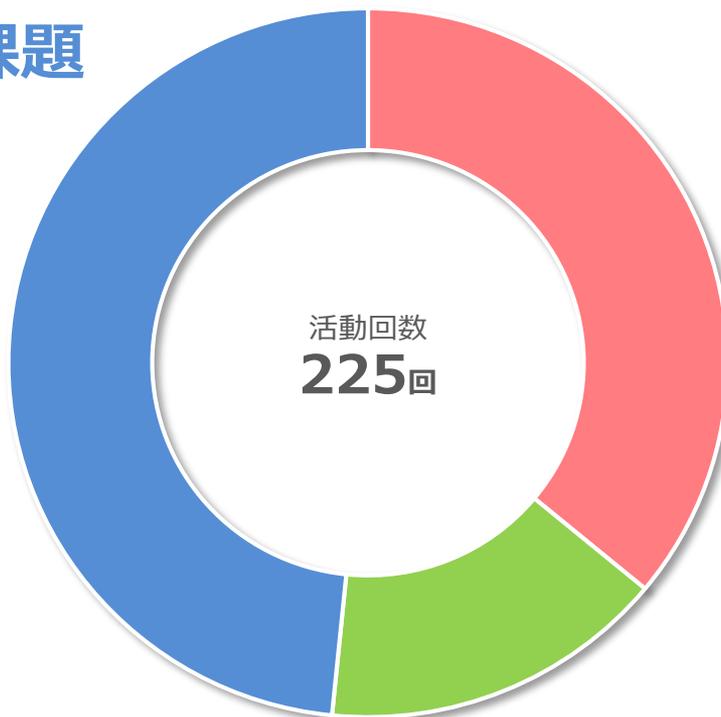
秋田県／秋田市、由利本荘市、にかほ市、男鹿市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

48.4%

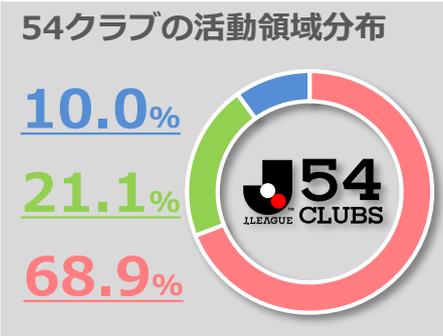
15.6%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

36.0%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

秋田県／秋田市、由利本荘市、にかほ市、男鹿市を中心とする全県

中央大学「福+プロジェクト」



ブラウブリッツ秋田では、中央大学FLP小林ゼミと共同で、「スポーツによる地域活性化」をテーマとした活動を2014シーズンより行っています。秋田県の抱える少子高齢化問題解決のために、シルバー世代が他者との新たな交流により繋がりやの輪を広げることがを目的に毎年イベントを企画しています。2017シーズンは「福+プロジェクト」と題し、2016シーズンも実施したグラウンドゴルフ大会や8人制バレーボール大会に加え、ホームゲーム観戦前後の気分の変化を調査する「POMS調査」を実施しました。

元気わくわくキッズプロジェクト



2015年より、JA全農あきたと共同で、「次世代を担う子どもたちの健全な育成」を目的に、小学生を対象とした食農教育の取り組みを実施しています。2017シーズンは、田んぼの生きもの調査、田植え・稲刈り体験に加え、新たに夏野菜の収穫・乳牛の乳搾り体験なども実施しました。また、JA全農あきたpresentsブラウブリッツ秋田ホームゲームにおいて、子どもたちが収穫したお米を選手に贈呈しました。

モンテディオ山形 (活動領域分布)



ホームタウン

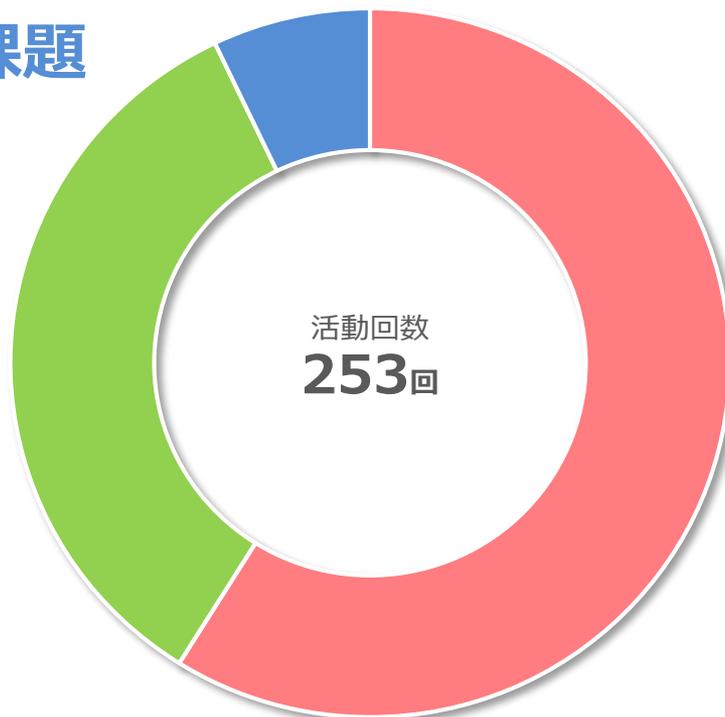
山形県／山形市、天童市、鶴岡市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

7.1%

34.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

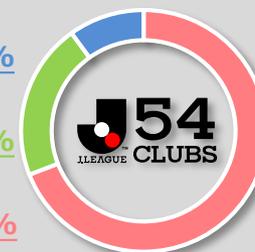
58.9%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

山形県／山形市、天童市、鶴岡市を中心とする全県

モンテ食育授業



12月8日、山形県天童市の市立津山小学校に松岡亮輔選手がキャリア教育の一環として6年生対象に特別授業を行いました。プロサッカー選手でありながら、社会科の教員免許を持っている松岡亮輔選手が、小さい頃の話やサッカーを始めたきっかけ、サッカー選手になるために頑張ったことなどを伝えました。

やまがた夏の風物詩、花笠まつりパレード



8月6日、29名の選手全員に加え、監督以下トップチームスタッフ、クラブフロントスタッフ合わせて約60人、およびサポーターのみなさん約60名、合わせて約120人の大所帯で山形花笠まつりに参加いたしました。パレードでは選手たちが思い思いに手を振り、花笠音頭を踊り、沿道の方々にうちわを配り、それぞれに祭りを盛り上げます。

福島ユナイテッド F C (活動領域分布)



ホームタウン

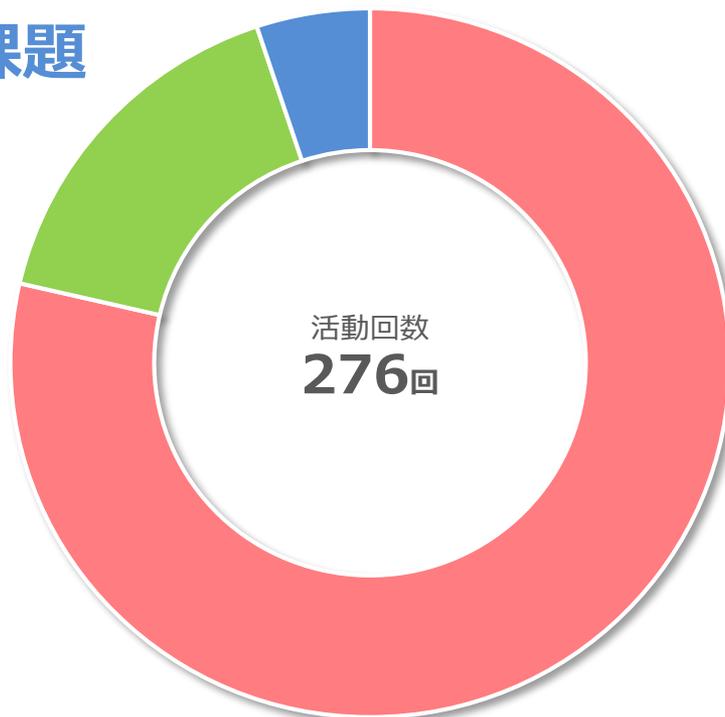
福島県／福島市・会津若松市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

5.1%

16.3%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

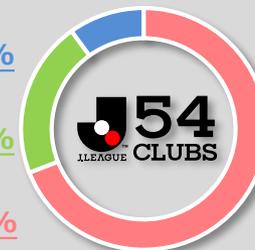
78.6%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

福島県／福島市・会津若松市を中心とする全県

福島県産品の風評払拭活動： ふくしまルシェ



2011年3月11日に発生した、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県及び、福島県産品に対する風評被害が広がりました。安心・安全な福島県の農産物を広くPRするため、福島県・福島市・県内の農家と協力し、アウェイ戦の試合会場で、福島の観光パンフレットの配布・県産品（野菜や6次化商品）の販売PRを開始しました。また、提携先の湘南ベルマーレのご協力もあり、毎年桃の時期には、福島のかだものと福島のPR活動を行っているミスピーチと一緒に試合会場で「ふくしまの桃」の配布しています。

福島県のりんご・桃のPR活動



風評払拭活動の一環として、選手・スタッフが農家に伺い、りんごと桃の生育を行っています。それぞれ受粉・摘果や葉積み作業などのいくつかの作業工程を行い、各メディアを通し、全国へ「美味しい福島の魅(味)力」を発信しています。

収穫するりんごと桃は、「福島ユナイテッドFCのりんご」「福島ユナイテッドFCの桃」としてブランド化し、予約販売を行っています。

福島への経済効果を常に意識し、地域からあって良かったと思ってもらえるクラブへとなるため、今後も活動を続けていきます。
上記の活動が評価され、日本財団Heros AWARD2017を受賞させていただきました。

鹿島アントラーズ (活動領域分布)



ホームタウン

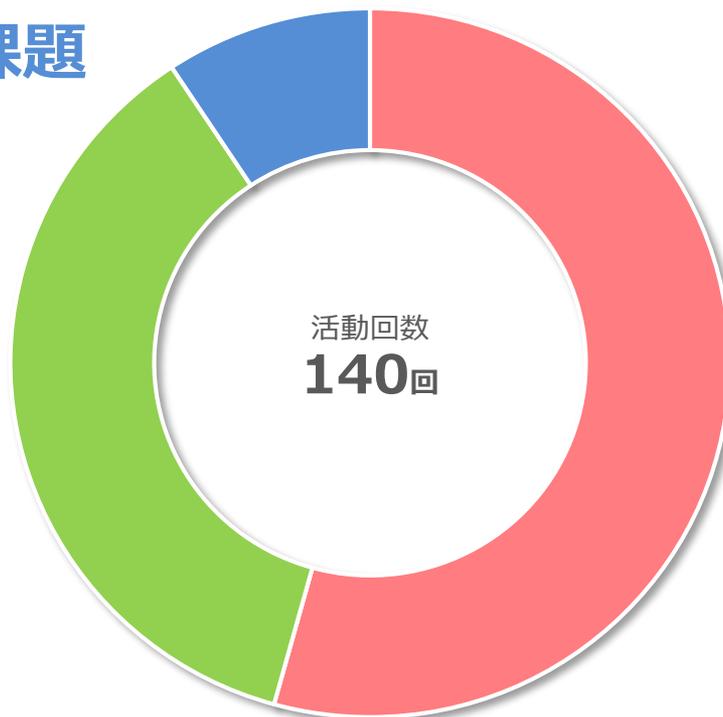
茨城県 / 鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市

Jクラブ×社会課題

9.3%

36.4%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

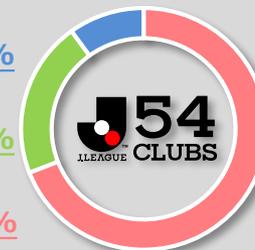
54.3%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

茨城県／鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市

アントラーズホームタウン小学校訪問



鹿島アントラーズは鹿行（ろっこう）地区5市と茨城県、アントラーズで形成するホームタウン協議会があり、そのホームタウン協議会主催で選手がホームタウンの小学校を訪問する「ホームタウン小学校訪問」を実施しています。

3年間で5市53校を訪問する計画で2017年は19校2,121名の児童と触れ合いました。写真は曾ヶ端選手と小田逸稀選手が訪問した模様で、当初6年生だけの交流の予定でしたが全校生徒が両選手をお出迎えしアントラーズの応援歌を送りました。

お礼に両選手が全校生徒とハイタッチして交流がスタートしました。6年生との交流では曾ヶ端選手がDF役をしたり、小田選手がFW役をしたりしました。PK対決では、曾ヶ端選手は「大人げなく」児童のシュートを止めましたが、小田選手は見事にシュートストップされていました。クラスごとの写真を撮って終了となりました。2018年は20校を訪問予定です。

ホームタウンデイズ/ フレンドリータウンデイズ



鹿島アントラーズは5市のホームタウンと10自治体のフレンドリータウンにサポートいただいております。Jリーグのホームタウン開催日に1年に1回各自治体の日を定めて「ホームタウンデイズ・フレンドリータウンデイズ〇〇の日」を実施しています。当日は当該自治体の住民のみならずをスタジアムに招待や優待するとともにスタジアムコンコースでは自治体の特産品のPRや地元の伝統芸能の披露するなど、スタジアムに会場された方への楽しみも提供いただいております。写真の「フレンドリータウンデイズ東庄の日」では特産品のいちごの販売が好評で長蛇の列となりあっというまに売切れてしまいました。

水戸ホーリーホック（活動領域分布）



ホームタウン

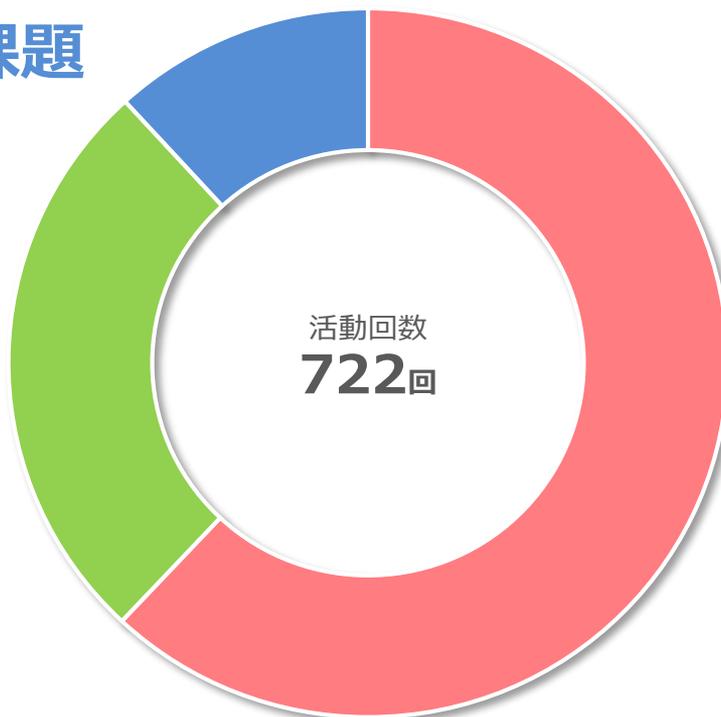
水戸市・ひたちなか市・笠間市・那珂市・小美玉市・茨城町・城里町・大洗町・東海村

Jクラブ×社会課題

11.8%

26.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

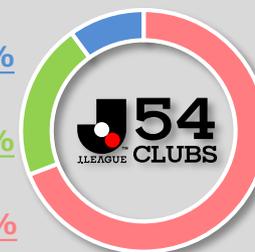
62.0%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

水戸市・ひたちなか市・笠間市・那珂市・小美玉市・茨城町・城里町・大洗町・東海村

幼稚園・小学校等でのスポーツ体験教室



アカデミーコーチが保育園、幼稚園、小学校等を訪問し、子どもたちとコミュニケーションをとりながら、身体を動かすことの楽しさ、素晴らしさを伝える活動を年間約350回実施しています。将来を担う子どもたちの夢を育み、スポーツを通して立派な大人へと成長していただくことが狙いです。

地域イベントおよび環境活動に積極的に参加



ホームタウンをはじめ、隣接市町村における地域イベントや環境活動に選手やクラブスタッフが積極的に参加し、活気溢れる街づくり、美しい街づくりに取り組み、ホームタウンを豊かにする活動を行っています。クラブでは、左記のスポーツ体験教室を含め、年間800回以上のホームタウン活動を実施しています。

「人が育ち、クラブが育ち、街が育つ」の理念の下、地域に根ざしたクラブを目指す。



ホームタウン

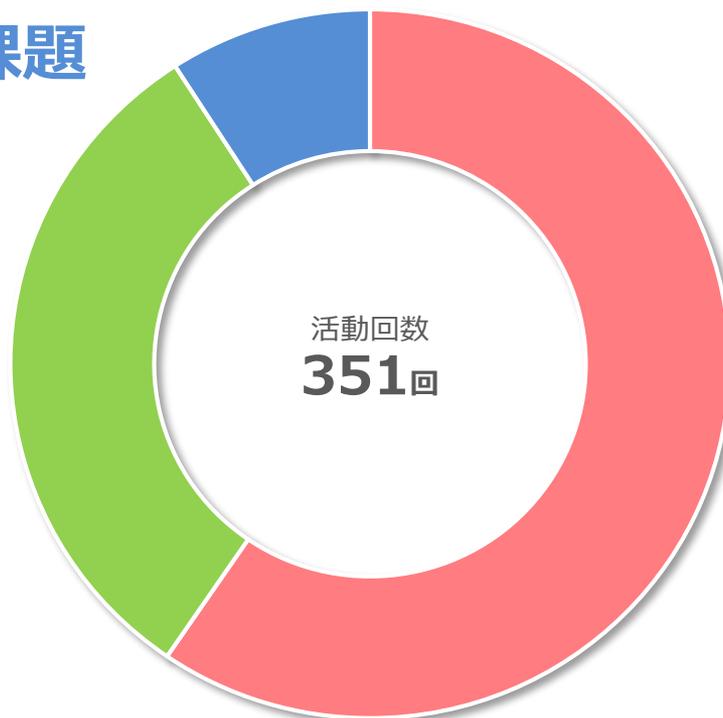
栃木県 / 宇都宮市

Jクラブ×社会課題

9.1%

31.3%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

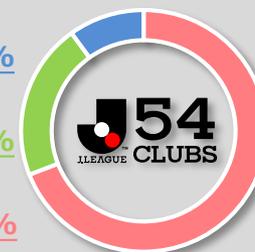
59.5%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

栃木県 / 宇都宮市

夢プロジェクト



社会貢献活動の一環として選手とコーチがホームタウン宇都宮市内の小学校を訪問し、講話や実技を行い、スポーツを通じて子どもたちと交流を深めることにより、子どもたちの心身の健全な発達に積極的に寄与することを目的としています。

自治会加入促進ポスター



ホームタウン宇都宮市の自治会加入促進ポスターです。その他栃木SCでは、薬物乱用防止や消費者被害防止、人権擁護など様々な啓発活動にも積極的に取り組んでおり、サッカーのみならず、広く地域への貢献を行っております。

ザスパクサツ群馬 (活動領域分布)



ホームタウン

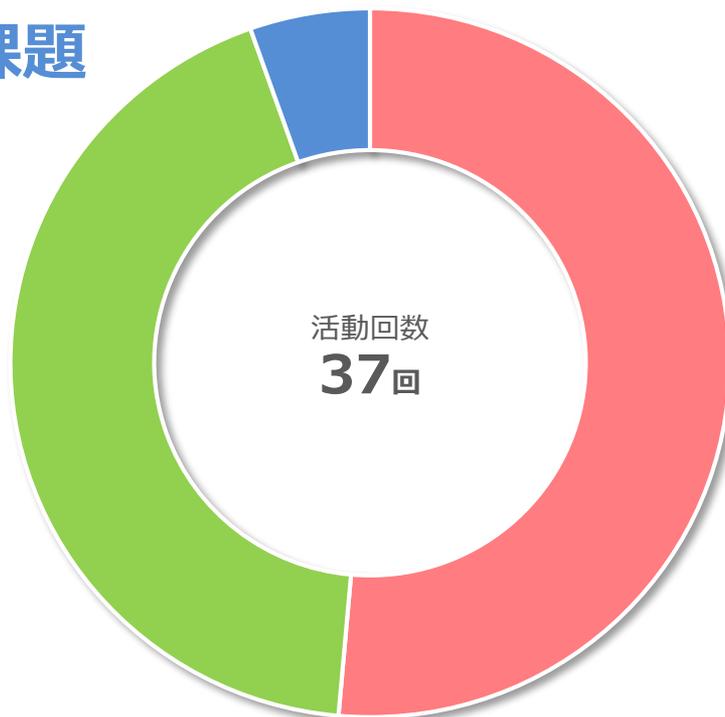
群馬県／草津町、前橋市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

5.4%

43.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

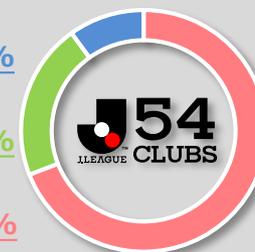
51.4%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

群馬県／草津町、前橋市を中心とする全県

福祉施設慰問活動



ザスパクサツ群馬では、地域に密着した総合的な健康づくり運動を推進するため、高齢者を対象とした健康づくり教室開催しています。また、運動以外でも栄養、休養の在り方に付いて具体的な指導を行い、長期的な健康づくりへの意識を高めるとともに、健康の保持増進を図ることを目的としています。

スマイルキッズキャラバン



ザスパクサツ群馬の所属コーチが、地域の小学校などで、スポーツの楽しさを伝えていきます。子どもたちに運動することの楽しさや協力することの大切さを伝え、元気いっぱいな笑顔になれるよう、県内各地に訪問します。

アウェイ戦でのPR活動



地域貢献を目的に、アウェイ戦において、群馬県のぐんまちゃんとともに、群馬県のPRを実施しています。

浦和レッズ (活動領域分布)



ホームタウン

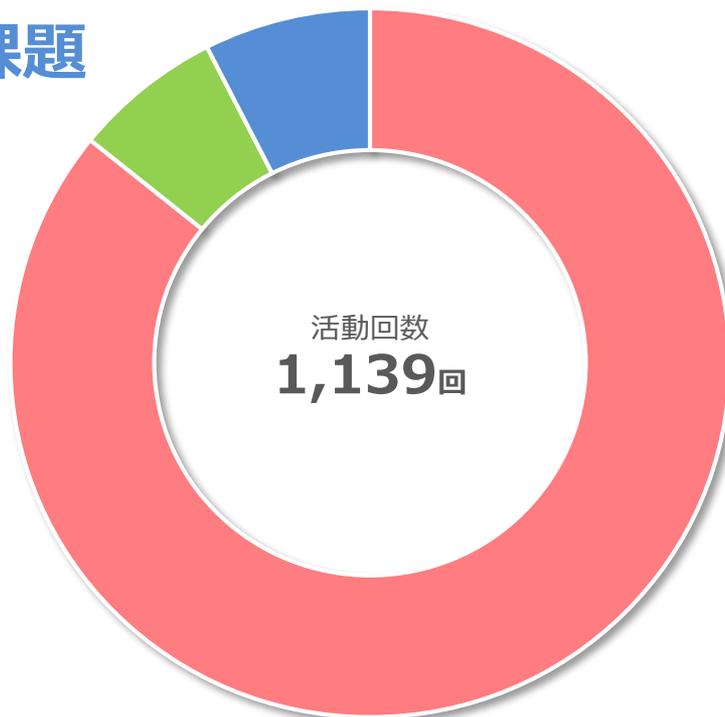
埼玉県 / さいたま市

Jクラブ×社会課題

7.5%

6.7%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

85.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

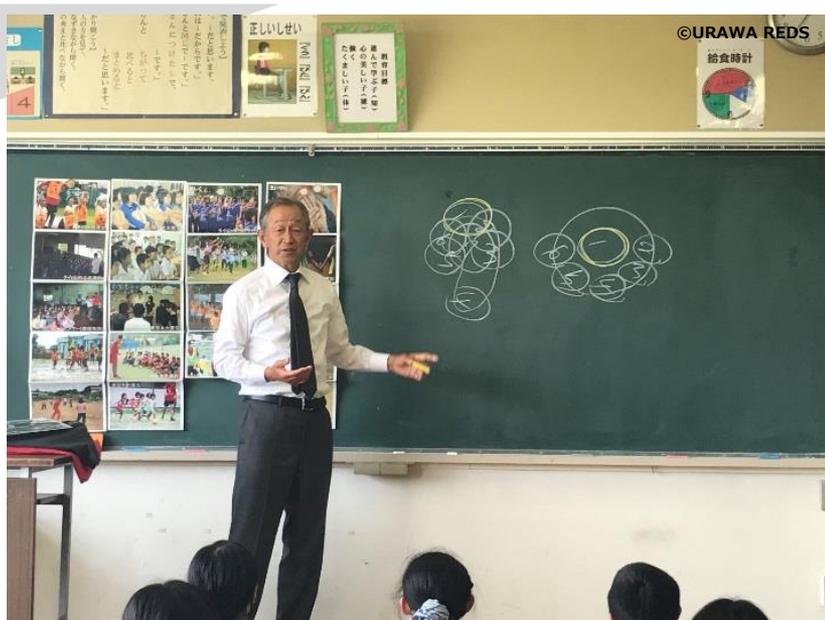
*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

埼玉県 / さいたま市

ハートフルクラブ「小学校授業サポート」



埼玉県内の小学校の道徳と体育の授業に取り組み、「こころ」と「からだ」を育む活動を行っています。
1時間目の落合キャプテンの講話で「一生懸命やること、楽しむこと、思いやり」の大切さを説き、2時間目の実技で元気にボールを追いかけて体を動かすことの楽しさを体感してもらいます。
2017年は128校を訪問しました。

浦和区女子サッカー教室



さいたま市浦和区役所が主催する浦和区在住・在学の小学生女子児童のためのサッカー教室を行っています。
毎年2回（夏・冬）実施し、レッズレディースの選手・指導者やハートフルクラブのコーチ陣が指導しています。毎回定員（100名）を超える応募がある『サッカーのまち 浦和』ならではの活動です。

大宮アルディージャ (活動領域分布)



ホームタウン

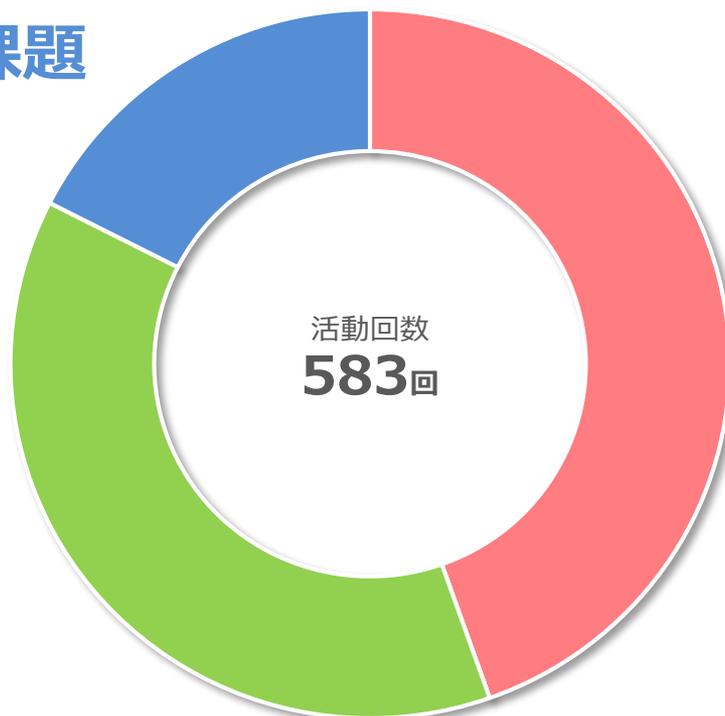
埼玉県 / さいたま市

Jクラブ×社会課題

17.5%

37.9%

Jクラブ×地域振興



活動回数
583回

スポーツ×健康

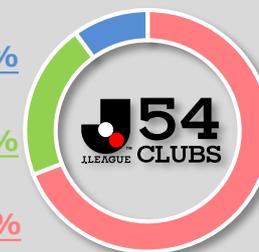
44.6%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

大宮アルディージャ (トピックス)



ホームタウン

埼玉県／さいたま市

大宮クリーン大作戦



©大宮アルディージャ

大宮駅前及び東口商店街のクリーン作戦（年間20回以上）、大宮区との合同のクリーン作戦の共催などホームタウンの美化に積極的に取り組んでいます。2004年以降、これまでに360回実施。（2018/3/8現在）



©大宮アルディージャ

人権啓発活動 (メッセージ入り人権フラッグ)



©大宮アルディージャ

これまで「全国中学生人権作文コンテスト」埼玉県大会への協力や、監督、選手のメッセージを書き込んだ人権フラッグやボードのホームゲームでの掲出、地元住民や子ども達と法務大臣とが語り合う「車座ふるさとトーク」のクラブハウスでの実施など、地域レベルで人権問題に取り組んでいます。昨年は、法務省人権擁護局より埼玉県プロスポーツチームでは初となる「人権擁護功労賞」を受賞しました。



©大宮アルディージャ

ORANGE! HAPPY!! SMAIL CUP!!!



©大宮アルディージャ

手話応援

障がい者との交流

昨年の10回目となる、障がい者のサッカー大会「ORANGE! HAPPY!! SMAIL CUP!!!」では、7つの障がい者サッカー体験イベントの開催およびPRブースを展示。障がい者向けサッカー教室なども実施し、障がい者サッカー認知の普及に努めています。また、さいたま市のノーマライゼーション条例と協働し、年1回、障がい者と健常者が手話を使って一緒に応援するホームゲームイベント「手話応援デー」を企業の協賛を得て開催。行政、市民、ボランティア、サポーターが協力し、多くの市民がノーマライゼーションを体験できる場を提供しています。

ジェフユナイテッド千葉 (活動領域分布)



ホームタウン

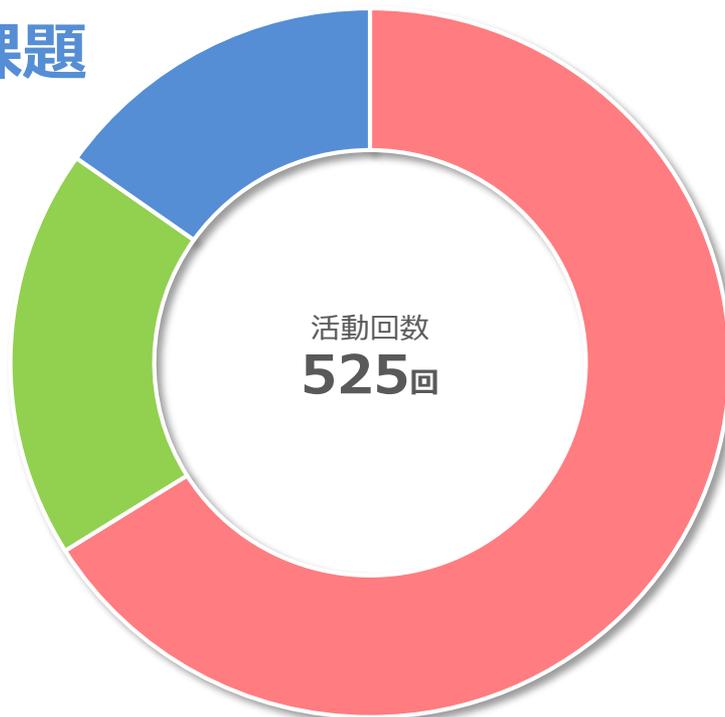
千葉県 / 市原市、千葉市

Jクラブ×社会課題

15.2%

18.7%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

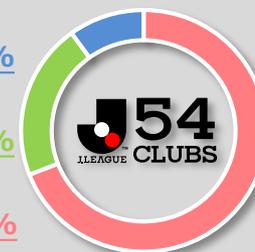
66.1%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

千葉県 / 市原市、千葉市

ホームタウンふれあいフェスタ



2004年から千葉市、市原市と共催で、市内の在住・在学生を対象に、トップチーム選手と普及コーチによるサッカー教室などのイベントを実施しています。

サッカーを通して、スポーツの楽しさ、コミュニケーションの大切さなどを学ぶとともに、選手と子どもたちとのふれあいや交流、およびホームタウン意識の醸成を目的としています。

朝のあいさつ運動



千葉市、市原市では、市の将来を担う子どもたちが登校時に、活力や希望・元気を感じ、健やかに育ってもらうことを目的に「あいさつ運動」を行っています。この活動趣旨に賛同しホームタウンのクラブとしてチームマスコットのジェフィやレディース選手が協力しています。

柏レイソル (活動領域分布)



ホームタウン

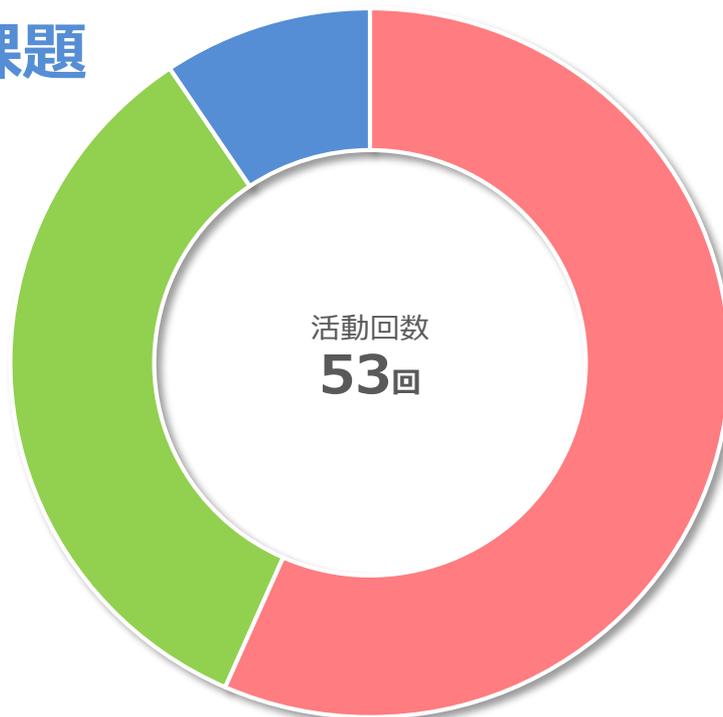
千葉県 / 柏市

Jクラブ×社会課題

9.4%

34.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

56.6%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

千葉県 / 柏市

学校訪問 レイソルしま専科 (せんか)



柏レイソルは2006年から、「サッカーを通じてホームタウンの子ども達の健全な育成に寄与すること」を目的に、ホームタウンの小中学校を選手らが訪問して子どもたちと交流をはかる「学校訪問レイソルしま専科(せんか)」を実施しています。選手やコーチングスタッフが自らの体験を語るトーク、リフティングなどの実技披露、そして実際にボールを使って身体を動かし、サッカーの楽しさを体験してもらうプログラムなどを通じて、子どもたちと交流しています。

柏市原動機付自転車 オリジナルナンバープレート



柏市の原動機付自転車(50cc以下)のナンバープレートデザインに、クラブマスコットの「レイくん」が採用され、7月14日(金)から交付されることになりました。

これは、柏ナンバー10周年を記念し、柏市民に自分のまちへの愛着を深めてもらうことを目的に導入されるもので、市内中学校美術部からデザイン案を募り、市民投票の結果、柏市立中原中学校美術部の作品に決定したものです。

【ナンバープレート デザインについて】
2017年1月30日～2月10日に市民投票を実施し、投票総数907票のうち、中原中学校美術部の作成したデザインが169票を獲得し、決定しました。

F C 東京 (活動領域分布)



ホームタウン

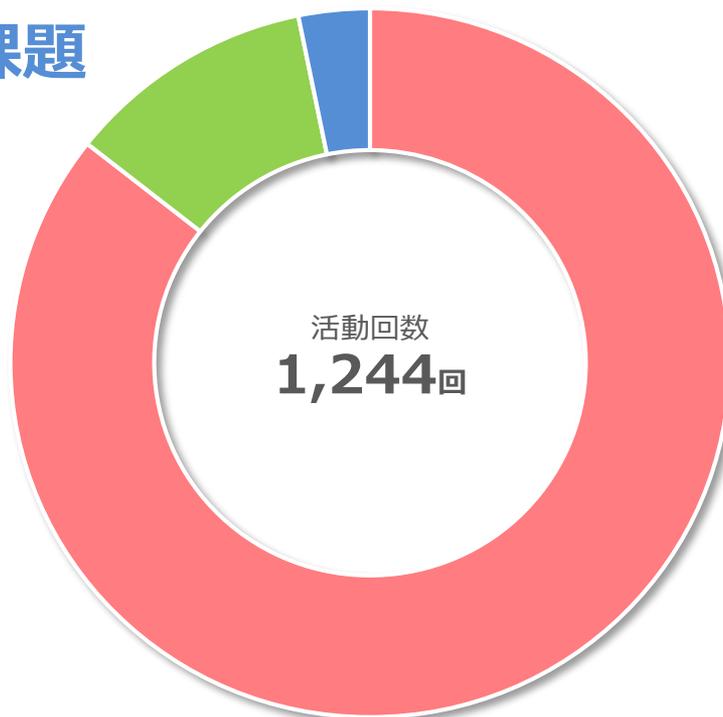
東京都

Jクラブ×社会課題

3.2%

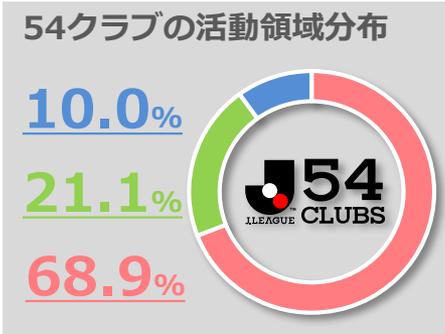
11.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

85.6%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

東京都

八王子市市制100周年記念事業実施

知的障がい児・発達障がい児 サッカー教室実施



GET THE DOUBLE
ダブル奪取!

八王子市市制100周年記念事業
八王子市民の方をFC東京の試合観戦にご招待!

7.8 LVS
7:00pm 味の素スタジアム
vs 鹿島アントラーズ

ご招待対象 八王子市在住・在学・在勤の方
ご招待料 赤一円自由席
ご招待人数 1,000名様

2017年6月1日(日)まで



2017年4月1日、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ（SUBARU 総合スポーツセンター）が新たに開設されました。その施設を利用し11月初旬、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と協働した、知的障がい児・発達障がい児サッカー教室を実施しました。当日は、未就学児童から小学6年生までの約30名のこどもたちが「サッカー」を通して、FC東京のコーチたちと一緒に元気に体を動かし、楽しんでくれました。

八王子100年応援団の団員（団長：北島三郎氏）であった中島翔哉選手をきっかけに、八王子市・八王子市教育委員会の後援を得て、7月の鹿島アントラーズ戦にて市在住、在学、在勤者を対象に1,000名の招待企画を実施しました。多くの八王子市民のみなさまが、4万人のご来場者を超す「満員の味の素スタジアム」の熱気を肌で感じていただきました。

東京ヴェルディ (活動領域分布)



ホームタウン

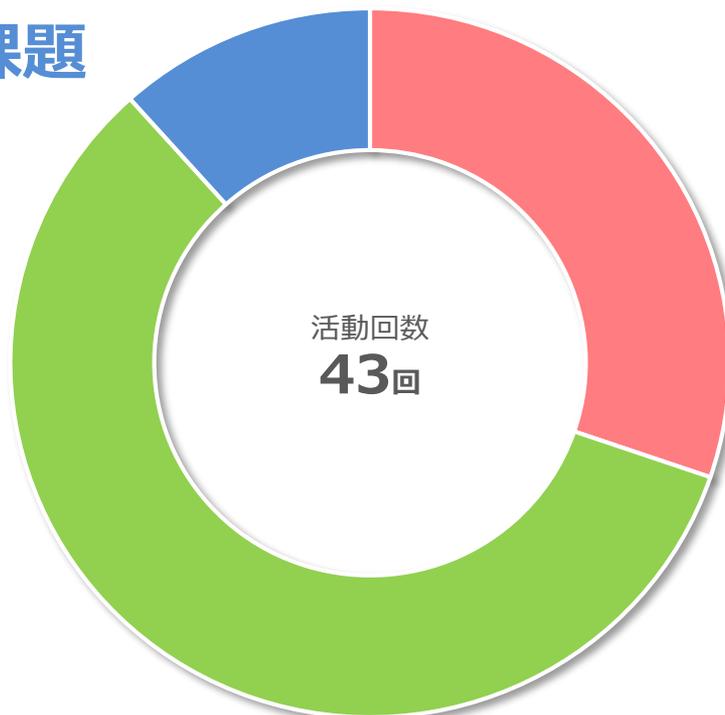
東京都

Jクラブ×社会課題

11.6%

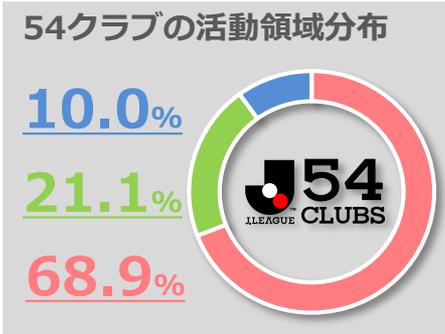
58.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

30.2%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

東京都

ヴェルレンジャー



東京ヴェルディが、より多くの人にスポーツの楽しさを伝えたい、特にホームタウンの子どもたちにもっとヴェルディのことを知ってもらい、親しみを感じてもらいたいという思いをこめて付けられたホームタウンで行うスポーツ振興活動の名称「いっしょにスポーツ楽しみ隊！ヴェルレンジャー」。小学校訪問や幼稚園、高齢者の方向けのスポーツ体験や介護予防教室、サッカー教室などホームタウンのスポーツ振興、サッカーの普及活動を行っています。

障害者スポーツ体験教室



ヴェルレンジャーに含まれる活動で、障害者スポーツ振興を図るため、障害者スポーツ体験教室を実施しています。東京ヴェルディの選手やコーチが講師として参加し、サッカー+1種目の計2種目のニュースポーツ、障害者スポーツを行います。

F C町田ゼルビア (活動領域分布)



ホームタウン

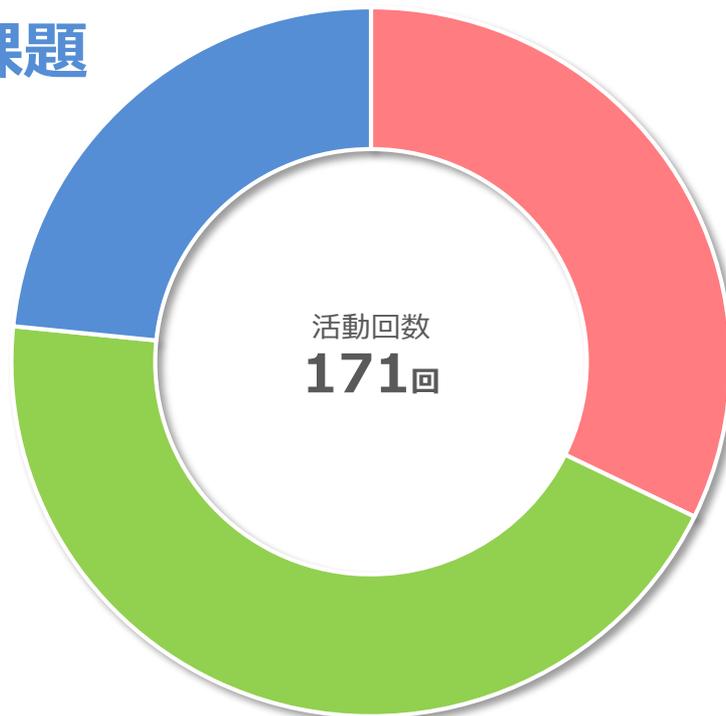
東京都 / 町田市

Jクラブ×社会課題

23.4%

44.4%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

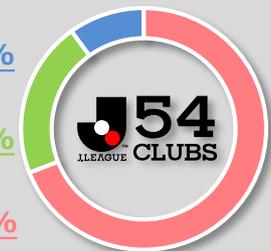
32.2%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

東京都／町田市

ゼルビア朝礼



自分の住む街にJリーグクラブがある喜びや、【夢】を持つ事の大切さを伝えていきたいと考え、町田市教育委員会にご協力いただき、2017年からスタートした活動です。小学校の朝礼にゼルビーやホームタウン担当、小学校最寄りの郵便局より1名の局員の方が訪問し、【夢】をテーマとしたお話やF C町田ゼルビアの紹介を中心として進行します。また、全員でゼルビアコールを大合唱し、退場する皆さんをゼルビーがハイタッチでお見送りします。

学童訪問サッカー教室



体を動かすこと、元気に遊ぶことでお友だちとの繋がりやサッカーの楽しさを知っていただくことを目的に訪問サッカー教室を行っています。

F C町田ゼルビアマスコットのゼルビーは子どもたちにも大人気。子どもたちとゼルビーと一緒に楽しむことで、緊張感も和みリラックスした雰囲気の中で実施しています。TOPチーム選手が参加するケースもあり、子どもたちに『夢を持つ大切さ』を伝えることや『憧れを抱く』きっかけとなれるよう取り組んでいます。

川崎フロンターレ (活動領域分布)



ホームタウン

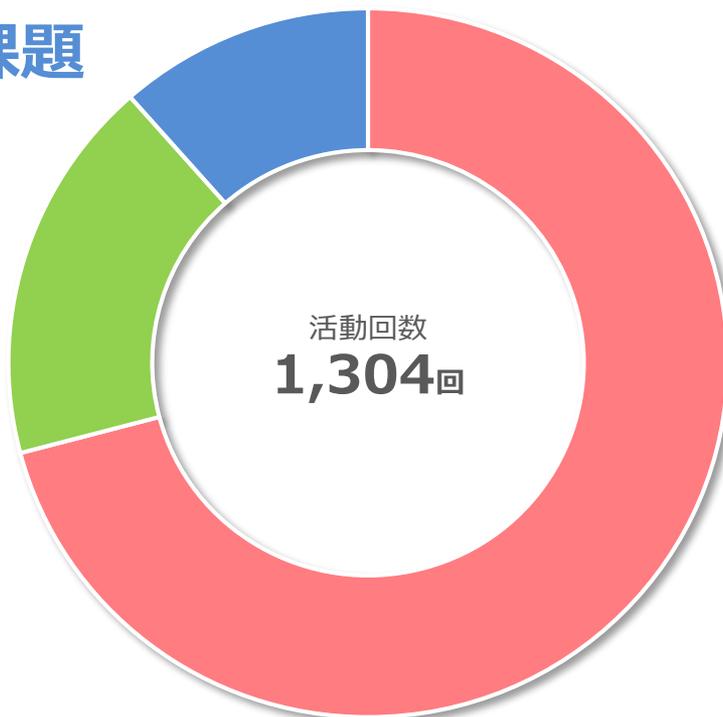
神奈川県/川崎市

Jクラブ×社会課題

11.5%

17.6%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

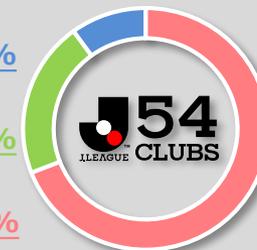
70.9%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

神奈川県／川崎市

障がい者就労体験



2015年から川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所と連携して毎試合約10名の障がい者を運営スタッフとして受け入れています。スタジアムのようなワクワクする場所で仕事をすることによって、働く楽しさを実感し、就労意欲も生まれて、正規就労に繋げることを目的としています。

多摩川エコラシコ



2008年から選手会主催の多摩川清掃活動として「多摩川エコラシコ」を開催しています。当日は清掃活動だけでなく、多摩川やゴミについて学べる「ゴミ分別体験学習」、「多摩川水生生物観察とパックテスト」、「草木染め体験」、「多摩川クイズ大会」も開催し、楽しみながら清掃活動、体験、学習ができるプログラムとなっています。

ブルーサンタ (病院訪問)



ブルーサンタとは、スカイブルーのサンタクロースに扮したフロンターレの選手が、ケガや病気と闘っている子どもたちを少しでも笑顔にできるようにと、川崎市内の小児科病棟を慰問する活動です。クラブ創立時の1997年から毎年開催している、とても大切な活動のひとつです。

横浜F・マリノス (活動領域分布)



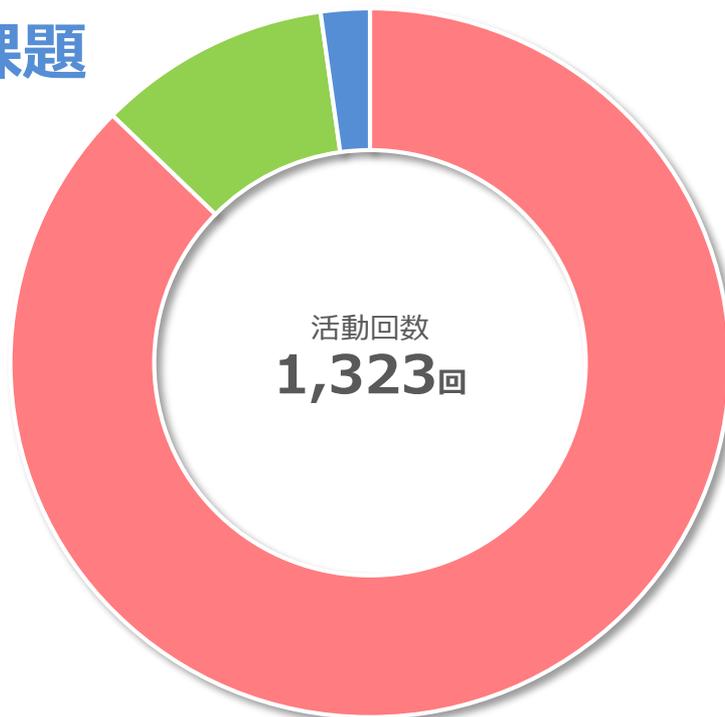
ホームタウン

神奈川県／横浜市、横須賀市、大和市

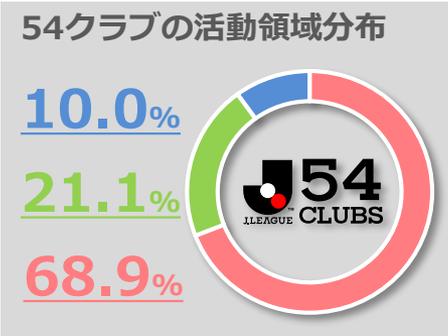
Jクラブ×社会課題
2.2%

10.5%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康
87.3%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

神奈川県／横浜市、横須賀市、大和市

障がい者サッカー



障がいのある方々が気軽にサッカーを楽しめる環境をめざし様々な活動を続けております。
2004年に創設したJリーグ初となる知的障がい者サッカーチーム「フトゥーロ（スペイン語で未来）」や電動車椅子サッカー大会の開催や普及活動など、障害のある方々がサッカーを通じて仲間とふれあい、そして楽しむことで社会とのつながりを実感すると共に地域社会の障がい者スポーツに対する理解や関心が深まることを目指して活動に励んでおります。これらの活動の他、ホームタウンに所在する特別支援学校等を訪問しサッカーキャラバンを実施しています。

学校との取り組み



サッカーやスポーツを身近に感じて頂くために、幼稚園や小学校を訪問し、身体を動かすことの楽しさや大切さを伝えています。またホームスタジアムが所在する港北区では、トップチームの選手が各学校を訪問し子どもたちとふれあっています。サッカーキャラバンの他、生徒の感受性や自主性を育てることを目的にスタジアム近隣中学校全校生徒による観戦会を実施し、単なる観戦会ではなく、運営ボランティアや会場演出、全校生徒で行う「人文字」など、スポーツへの多様な関わりを体感することでキャリア教育に繋げています。加えて、横浜市教育員会連携事業として子どもたちが社会の課題を自分たちで解決する「はまっ子未来カンパニープロジェクト」にも取り組んでいます。
「どうしたら市民の皆さんに愛されるチームになれるか？」
「どうしたらスタジアムに試合を観に来てもらえるか？」といった課題に対し、子どもたちがデザインした「試合告知ポスター」や「オリジナルチケット」などを製作し、実際に子どもたち自ら掲出のお願いやチケット販売を行いました。

横浜 F C (活動領域分布)



ホームタウン

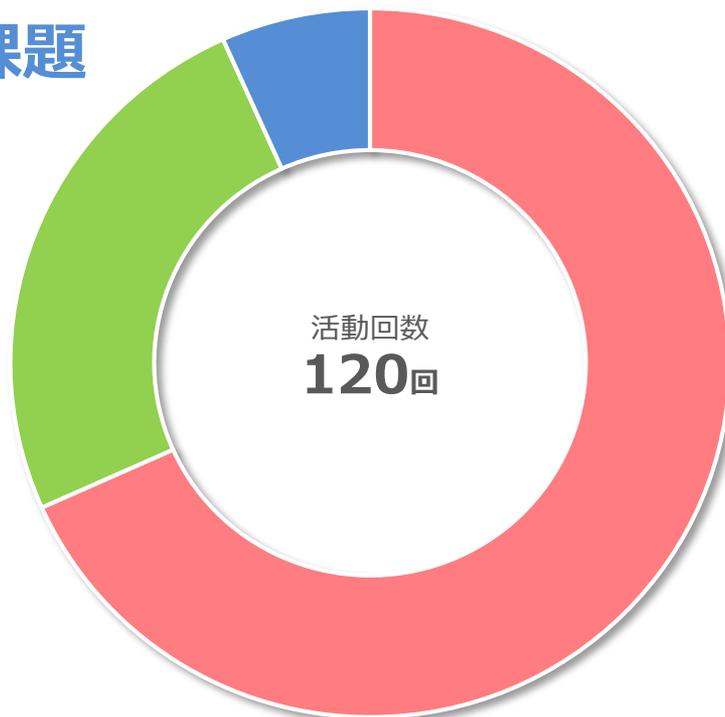
神奈川県／横浜市

Jクラブ×社会課題

6.7%

25.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

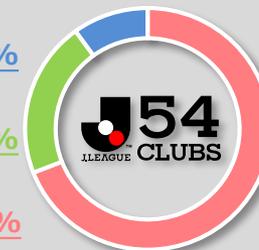
68.3%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

神奈川県／横浜市

横浜 F C からのお便り「ハマはま便り」



横浜市内の小学校へ毎月配布しています。表面はクイズやなどなどで子どもたちが参加しやすい内容になっており、裏面は試合の告知内容になっています。まずはお便りに興味をもってもらい、そこからスタジアム来場につながる試みです。実際に選手が直接ハマはま便りを小学校へ届ける企画も実施しています。



横浜 F C と遊ぼう！ はまっ子ふれあいスクール・放課後キッズクラブ



横浜 F C では、横浜市が平成5年から、通いながれている学校で、主に両親が共働きをしている子どもたちが遊びを通じた交流を図ることを目的に実施している放課後学童保育「はまっ子ふれあいスクール」及び「放課後キッズクラブ」の事業に賛同しています。ボールを使ってサッカーの楽しみを感じてもらうことももちろんですが、大切なことは「仲間を気づかう心」「自分を磨く向上心」「遊ぶ体力」をいかに養うか、それをサッカーを通じて気づいてもらえるよう、コーチはいつもアイデアとキャラクターを駆使して子ども達と触れ合います。その出会いを通じて、このまちに横浜 F C がいること、横浜 F C がいるから楽しみが広がること、楽しみがあるから豊かな時間が過ごせることを感じていただく機会になることを願っています。2017年度は、全80校、4,563名の子ども達と出会い、ふれあうことができました。



ホームタウン

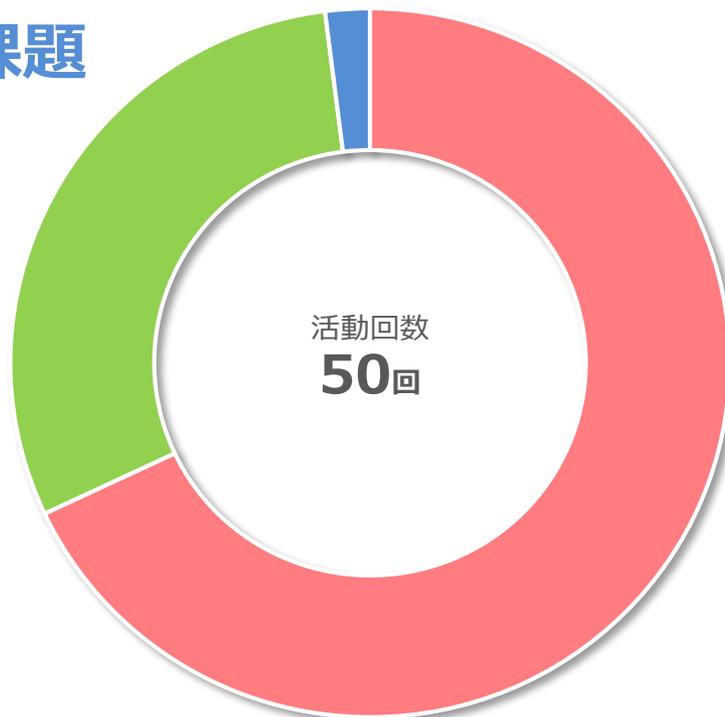
神奈川県／横浜市

Jクラブ×社会課題

2.0%

30.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

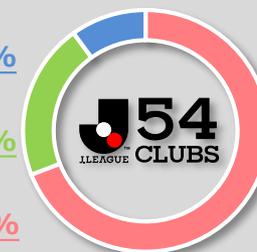
68.0%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

神奈川県／横浜市

本牧サポートプロジェクト

開催日 5月21日(日) 11時～15時
イオン本牧店 2F イスパニア広場

- グッズ販売
 - ・リクエストスタジオから生中継
 - ・かんぱね Y.S.C.C. 応援連合会
- ありがとうございます！幸せの黄色いレシート
 - ・スポーツで健康をプラス
 - ※内容や出演者は変更になる可能性があります。

Y.S.C.C.グッズ
ポレボレグズ
わたあじ
本牧トック・サイダー

マリノFM 開局5周年
ありがとうございます！幸せの黄色いレシート
本牧中学校吹奏楽部・合唱部

Y.S.C.C.選手登場！
公開練習も実施よ！
つちりもり

小さいお子様も楽しめます！ Y.S.C.C.選手も来るよ！

本牧のJ3サッカーチーム

Y.S.C.C. (NPO 法人 横浜スポーツ&カルチャークラブ) 地域スポーツ文化活動で振興
本牧シーメンズクラブに事務所があり、1986年のクラブ設立当初から中区を中心に活動しています。
組織に属したクラブとして、サッカー以外の種目(テニス、フットサル、バドミントン、バスケ)も活発。総務部から入(シニア)部、女性と若年層が参加する総合健康スポーツクラブです。
スポーツを通じて健康体力の増進や運動能力の向上、余暇の充実に貢献しています。
小学校でのサッカー教室、定期イベントへの参加、被災者への寄付など地域に根ざした人と人とのあたたかい運動をしています。

チームスローガン「一丸 ～31年目の挑戦～」

★ ポレボレグズ ★
障がいのある方たちが作った商品です。
毎日、学業所で心をこめて作っています。
イオン本牧店 (本牧サポートプロジェクト)
毎月第3火曜 13:00～15:00

★ 幸せの黄色いレシート ★
イオン本牧店で毎月1日、お客様に提供いただいたレシートの1%を障がい当事者団体に寄附しています。
障がいのある方たちの活動充実につながっています。

★ 本牧サポートプロジェクト ★
障がい者施設と Y.S.C.C.の最先端を軸に地域の企業、団体、メディアが連携して活動を行っています。
から、お互い助け合い、交流しながら元気で活気のある街づくりを目指すプロジェクトとしてスタートしました。
本牧まちづくり会議、中区障害者団体連絡会、Y.S.C.C.、イオン本牧店、タウンユース、J:COM、マリノFM 開局5周年、本牧通り商業活性化協議会、横浜本牧ロータークラブが協働しています。

Y.S.C.C.杯 横浜開港記念サッカー大会



©Y.S.C.C. YOKOHAMA

Y.S.C.C.横浜では、横浜開港記念日を祝して、港町横浜の歴史を学ぶ事を念頭にスポーツを通じて、青少年の心身の健全育成と未来に羽ばたく人材育成を行う事、良質なグラウンドで少人数制のサッカーを行うことで、個人技術の確認、発見、向上を大会趣旨として本大会を開催いたします。

本牧まちづくり会議とY.S.C.C.が中心となり、本牧地域の住民や障害者団体、イオン本牧店など民間事業者が協力して互いに支え合う社会づくりを目指すことを目的に設立され、本牧サポートプロジェクト主催の地域イベントへの参加や毎月第3火曜日にイオン本牧店でのクラブPR&グッズ販売、障がい者施設での健康体操教室などを実施しています。

湘南ベルマーレ (活動領域分布)



ホームタウン

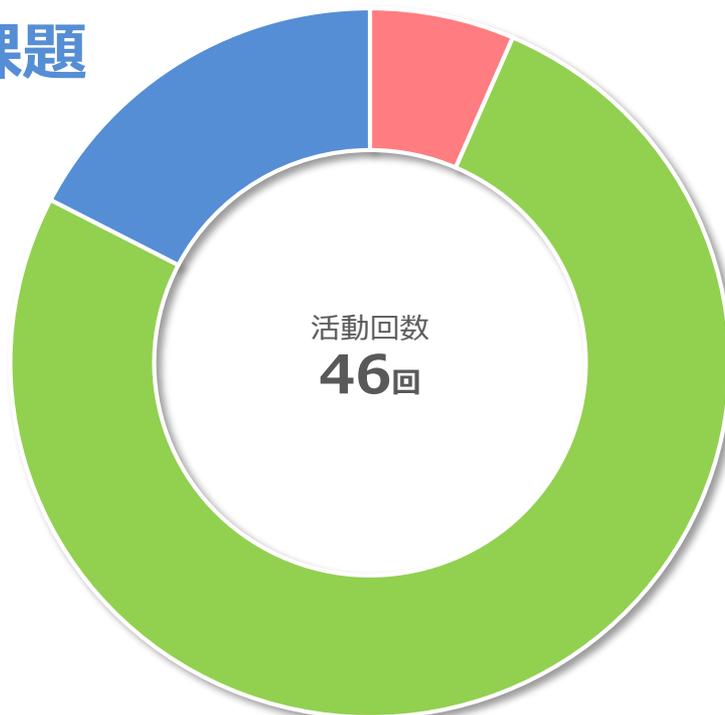
神奈川県／厚木市、伊勢原市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、大磯町、寒川町、二宮町、鎌倉市、南足柄市、大井町、開成町、中井町、箱根町、松田町、真鶴町、山北町、湯河原町

Jクラブ×社会課題

17.4%

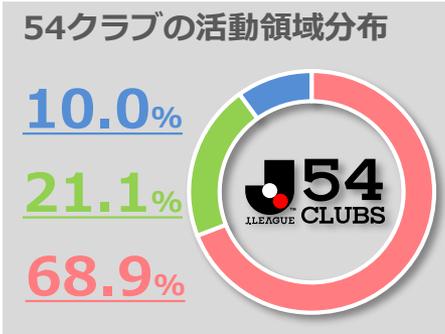
76.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

6.5%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

神奈川県／厚木市、伊勢原市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、大磯町、寒川町、二宮町、鎌倉市、南足柄市、大井町、開成町、中井町、箱根町、松田町、真鶴町、山北町、湯河原町

ベルせん



選手が平塚市内の小学校に行き、1授業の先生を担当。選手自らが考えた授業内容で「夢」についての実体験を交えながら授業を進めていきます。

ホームタウン表敬訪問



ホームタウン9市11町に表敬訪問する活動です。選手、スタッフが実際に市長や町長と話し、各ホームタウンとの関係性をシーズン前に築きます。

S C相模原 (活動領域分布)



ホームタウン

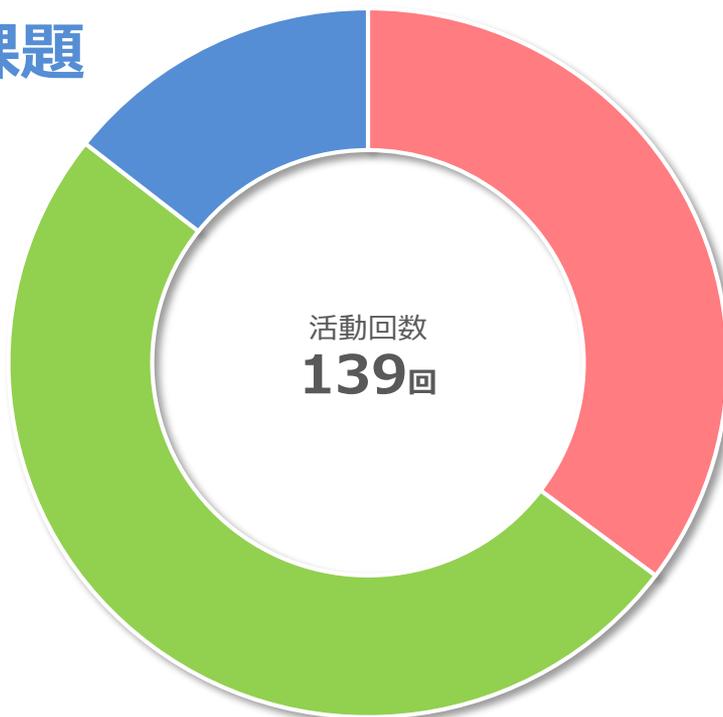
神奈川県 / 相模原市、座間市

Jクラブ×社会課題

14.4%

50.4%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

35.3%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

神奈川県 / 相模原市、座間市

相模原市内小学校あいさつ運動



4/28相模原市立上溝小学校に、全校集会にSC相模原の選手が参加し、あいさつをして良かったこと・あいさつをしないで失敗したことのエピソードトークをお話しました。下校時には、選手が校門に立ち、サヨナラのハイタッチでお見送を行いました。

STUDY CLUB さがみはら



夏休み期間中クラブ事務所を拠点とし、地域の子どもたちを対象に、総合的学習的な要素を教える体験型寺子屋を開設しました。SC相模原というサッカークラブの職場体験や、スポンサー企業の工場見学や農業体験、地元高校生との芸術体験などを行い、子どもたちは地域の特色理解ができ、企業も地域の子どもたち（およびその保護者）に自分たちの持つ技術等を伝えられる機会となりました。チームが子どもたちに伝える先生役をするだけでなく、企業と子どもたちとの懸け橋としても機能できました。

ヴァンフォーレ甲府（活動領域分布）



ホームタウン

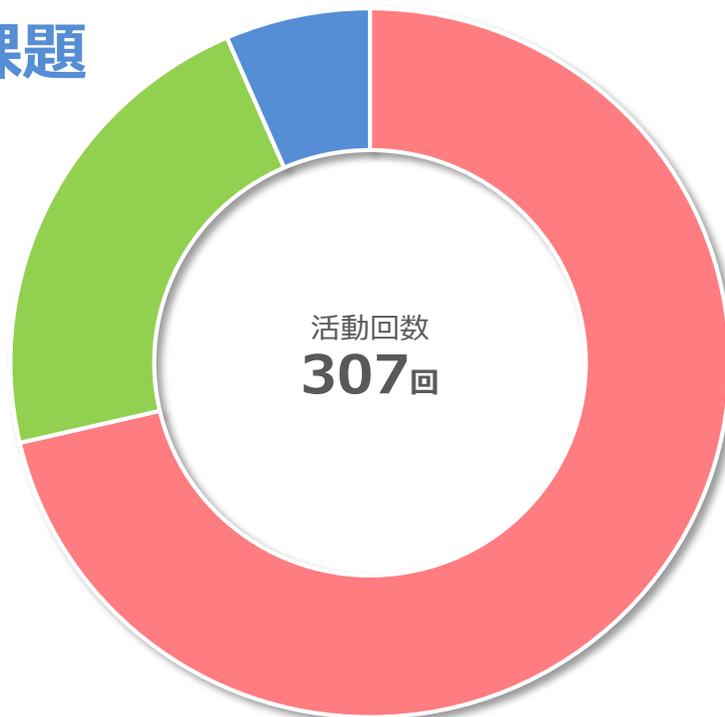
山梨県／甲府市、韮崎市を中心とする全市町村

Jクラブ×社会課題

6.5%

22.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

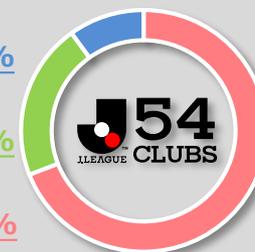
71.3%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

ヴァンフォーレ甲府 (トピックス)



ホームタウン

山梨県／甲府市、韮崎市を中心とする全市町村

ヴァンフォーレ山の都駅伝



2017年4月に活動を開始した一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブと一般社団法人甲府青年会議所の共催で駅伝大会を実施しました。県内から116チーム・565名(年中～小学6年生)の子どもたちが参加し元気にタスキを繋ぎました。競技以外にも様々な団体や企業と連携し、軽スポーツ体験やダンスによるウォーミングアップ、牛乳の無料配布、特別号外新聞の作成などを行い家族、仲間と楽しめるイベントとなりました。また、100名を超えるスポーツボランティアさんの協力を得て実施出来たことで、交流の推進やボランティア意識向上の場にもなりました。

かえで支援学校交流会



2001年の経営危機の時代から継続して実施している地域交流活動です。イベント当日は、チーム練習を午後にして全選手、全スタッフが参加し小学部、中学部、高等部の子どもたちと半日をかけて交流を行います。

松本山雅 F C (活動領域分布)



ホームタウン

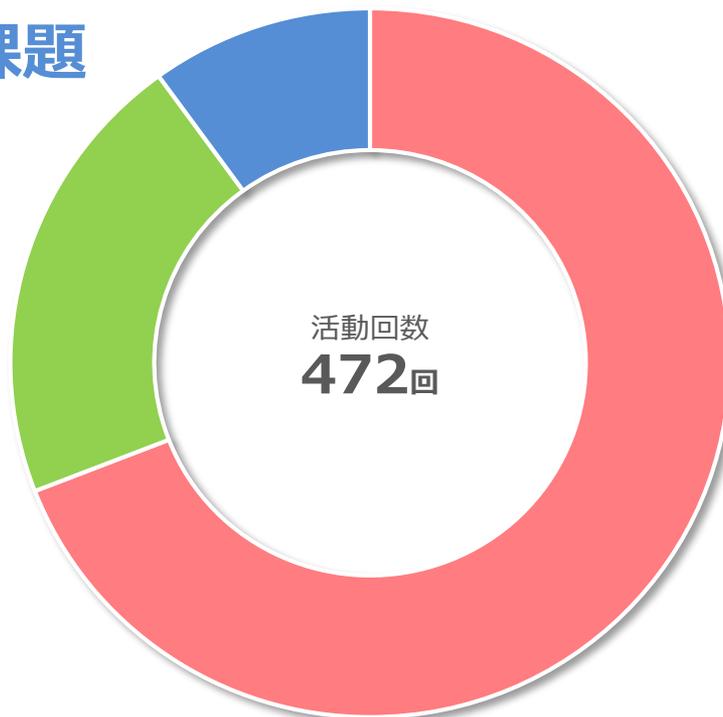
長野県／松本市、塩尻市、山形村、安曇野市、大町市、池田町

Jクラブ×社会課題

6.8%

36.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

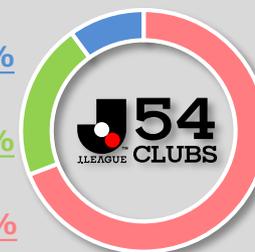
57.2%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

長野県／松本市、塩尻市、山形村、安曇野市、大町市、池田町

松本山雅 F C 元気育成・健康増進 プログラム スマイル山雅健康運動教室

喫茶山雅「カフェトーク」



松本山雅FC所属選手やスタッフが、松本市内の「福祉ひろば」を巡回し、地域にお住まいの高齢者の皆さんへの運動指導や講話などを行う健康講座です。

2014年にスタートし、1年で12ヶ所。2016年までの3年間で松本市内全36ヶ所を巡回しました。2018年からは2周目に突入。今年からは、36ヶ所ある福祉ひろばと心をひとつにし、健康への思いを繋げていく新たな取り組みとして『ペナントリレー』をはじめました。次回開催される「福祉ひろば」の皆さんへメッセージを添えてペナントを繋ぎます。

昨年2月に復活オープンした松本山雅のルーツ「喫茶山雅」をオリジナルイベントスペースとし活用し、選手を迎えてトークイベントを通し、ファンやサポーターとの交流の場を提供しています。また、喫茶山雅を地域の方達のコミュニティスペースとしても活用しています。

A C長野パルセイロ (活動領域分布)



ホームタウン

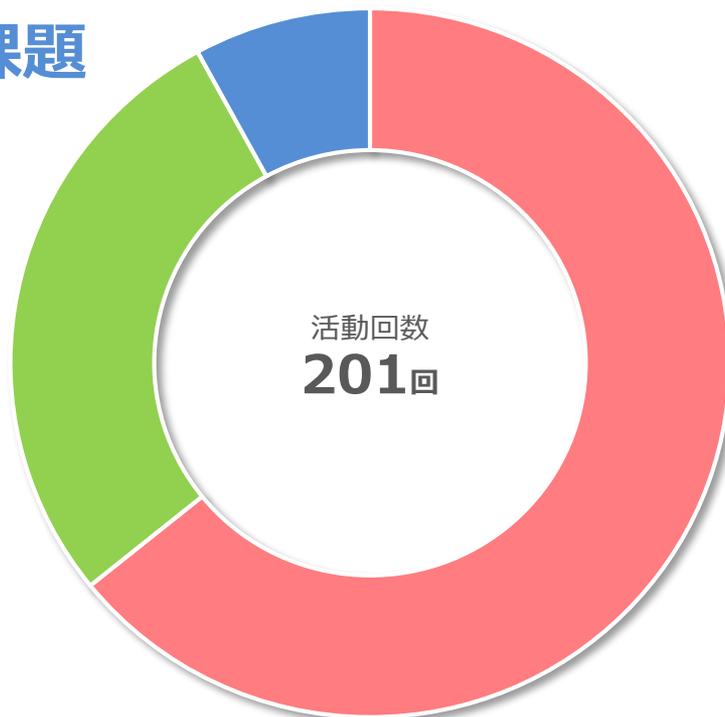
長野県／長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、飯綱町、小川村、栄村、佐久市

Jクラブ×社会課題

8.0%

27.9%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

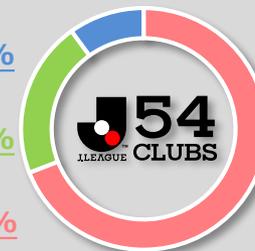
64.2%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

長野県／長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、飯綱町、小川村、栄村、佐久市

パルセイロ農園



JAグリーン長野様、JAグリーン長野青壮年部様のご協力のもと「第3回パルセイロ農園」を実施し、「りんごのシール貼り」と「稲刈り体験」を行いました。稲刈り体験では、レディースの鈴木里奈選手と村社選手も参加。両選手とも人生初となる稲刈り体験を、子どもたちとともに楽しんでいました。

通明小学校・篠ノ井東小学校 パルセイロコラボ授業



通明小学校では朝の時間を活用し学生と保護者、地域の方々が集まり毎週、書道朝学行われています。そこに今年もクラブスローガンを書いていただいている、地元篠ノ井の書家、川村龍洲先生と一緒に特別講座を行いました。また篠ノ井東小学校でも同様に5年生の書道の時間にコラボ授業ということで課題の「一体感」をみんなで書きました。

アルビレックス新潟（活動領域分布）



ホームタウン

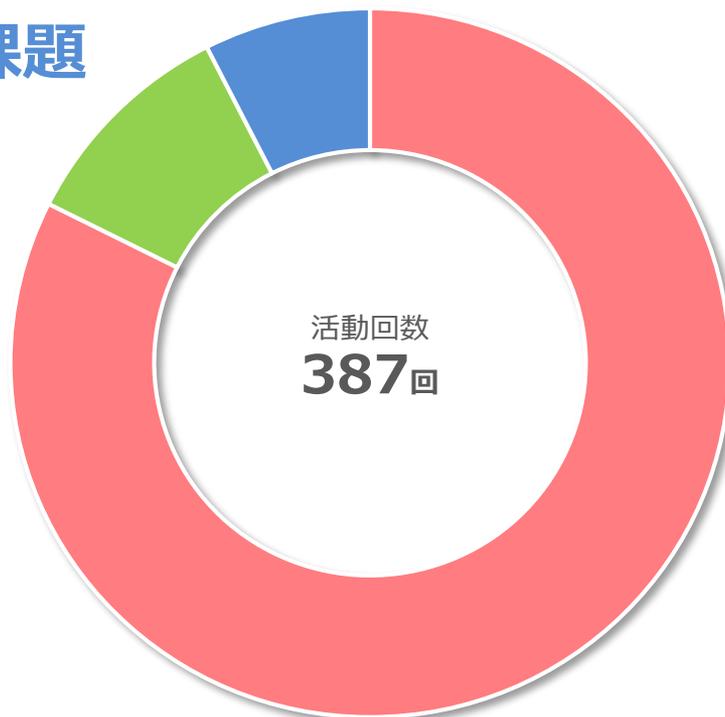
新潟県／新潟市、聖籠町

Jクラブ×社会課題

7.5%

10.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

82.4%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

新潟県／新潟市、聖籠町

新潟市ドキドキ・ワクワク ふれあいサッカー教室



新潟市内在住の小学生を対象としたサッカー教室。アルビレックス新潟のスクール・普及部コーチを中心に、アルビレックス新潟の選手、コーチ、ならびにアルビレックス新潟レディース選手、コーチが加わり、実技を交えながら直接指導をしました。

にいがたスポーツ ゆめづくり事業



県内各地で、小学生や中学生を対象に10回のサッカー教室を開催。サッカーを初めて体験する子どもから地域の少年団で活動する子どもを対象に実施し、各開催場所や参加者のニーズに合わせて、サッカーの楽しさや、個人の基本技術からグループ戦術など幅広く指導しました。

ホームタウン新潟市、 聖籠町の小学校新1年生への 「クラブオリジナル下敷プレゼント」



2012年から始まった活動で、小学校新1年生に学業に利用してもらい、小さいころからクラブを身近に感じてもらいたいという目的で実施しています。2015年からは、新潟市出身選手が母校を訪問しまして、後輩にあたる子どもたちに直接下敷をプレゼントしました。

カターレ富山（活動領域分布）



ホームタウン

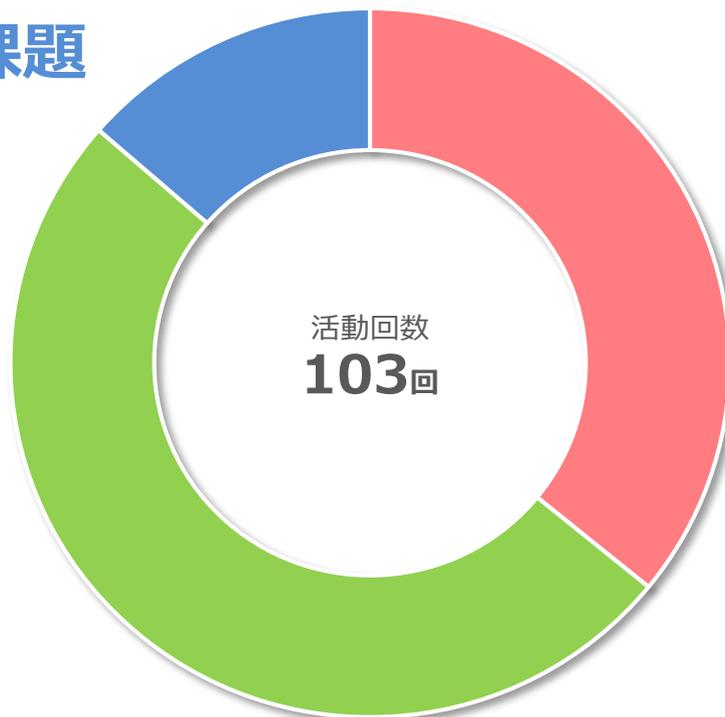
富山県／富山市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

13.6%

50.5%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

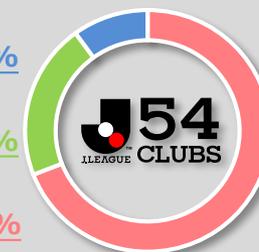
35.9%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

富山県/富山市を中心とする全県

八重津浜海岸清掃



練習場の近隣である海岸を、選手はじめ全クラブスタッフ、アカデミー、ダンスパフォーマンスチーム、ファン・サポーター、近隣住民などが参加し清掃活動を行います。終了後は選手とファン・サポーターの交流タイムも設けています。

ファン感謝祭



10数種類のゲームブースを設置し、選手とお客様が対戦形式で触れ合います。選手に勝ったらその場で写真撮影など各種景品を用意。対戦ブース以外に設けたキッズプレイルームも好評でした。

ツエーゲン金沢 (活動領域分布)



ホームタウン

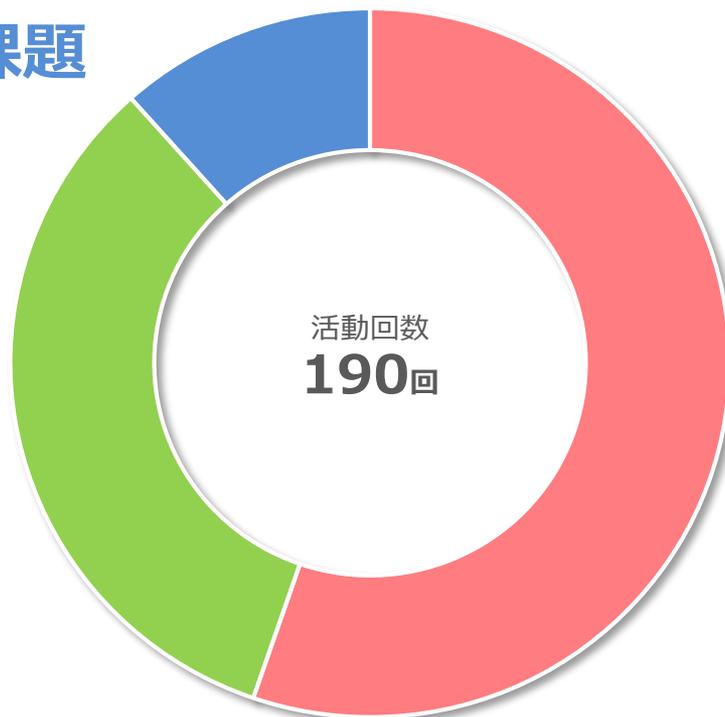
石川県／金沢市、野々市市、かほく市、津幡町、内灘町を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

11.6%

33.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

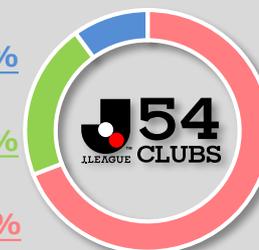
55.3%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

石川県／金沢市、野々市市、かほく市、津幡町、内灘町を中心とする全県

職業講話



ツエーゲン金沢の選手・スタッフが石川県内の小中学校の授業に参加し、児童・生徒と交流事業を行っております。夢を持つことの素晴らしさや、プロサッカー選手の厳しい世界について、子供たちに伝える貴重な場となっております。2017年度は県内の小中学校計15校を訪問しました。

プロスポーツ出前サッカー教室



2017年度より開始した、ホームタウンである金沢市との協同活動です。金沢市内の小中学校を対象に、スポーツの楽しさを教えること、プロスポーツクラブに親しみを持ってもらうことを目的に実施しています。年間2～4回実施し、毎回選手を派遣しています。ボールを使ったゲームや、エキシビションマッチなど多彩な内容で展開しています。

清水エスパルス (活動領域分布)



ホームタウン

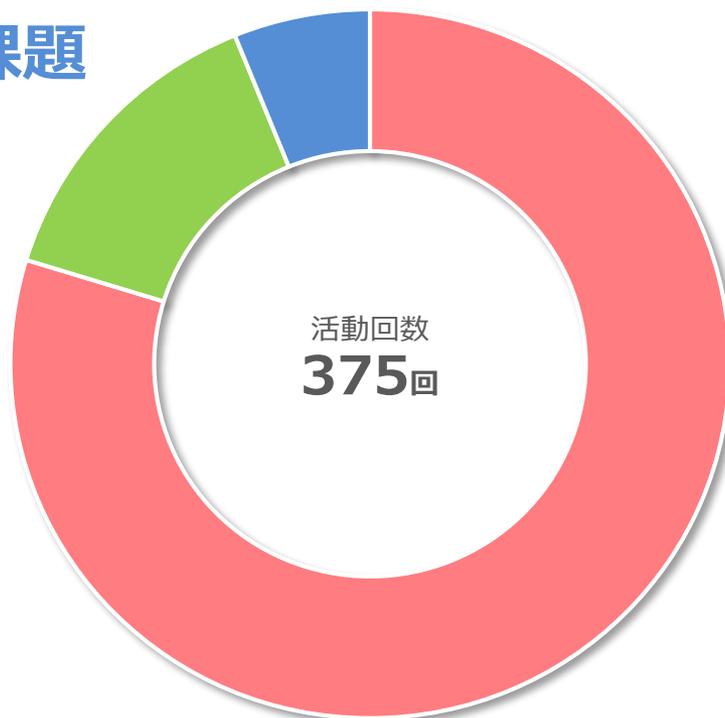
静岡県 / 静岡市

Jクラブ×社会課題

6.1%

14.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

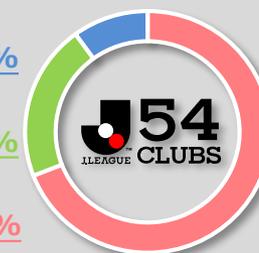
79.7%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

静岡県 / 静岡市

エスパルスエコチャレンジ 『しずおか校庭芝生化応援団』 芝生ポット苗づくり



この取り組みを支援するため結成された『しずおか校庭芝生化応援団』の企業・団体の皆さんとボランティアさんの計約80名が集まり、芝生ポット苗づくりを行いました。ポット苗とは、エスパルスの選手が日ごろ練習で使用している三保グラウンドの整備作業(コアリングまたはエアレーションとも言う)の際に、抜き取られる小さな芝生の株と土を専用のシートに植えて作るもの。このポット苗を利用した芝生化は、従来の方式よりも比較的安価で簡単にできるため、近年注目を集めております。『しずおか校庭芝生化応援団』ではこれまでに延べ51カ所の施設のグラウンド芝生化を達成しました。

エスパルスハロープロジェクト事業 『エスパルスオリジナルベビースタイ』 贈呈式



清水エスパルスは、静岡市と共同し、2012年から子育て応援事業「エスパルス ハロープロジェクト」を実施しております。当事業の一環として、清水エスパルスのホームタウン静岡市に誕生した乳児の皆さまに、夢を持って元気よく育ててほしいという願いを込めて「エスパルス オリジナル ベビースタイ」をプレゼントしています。



ホームタウン

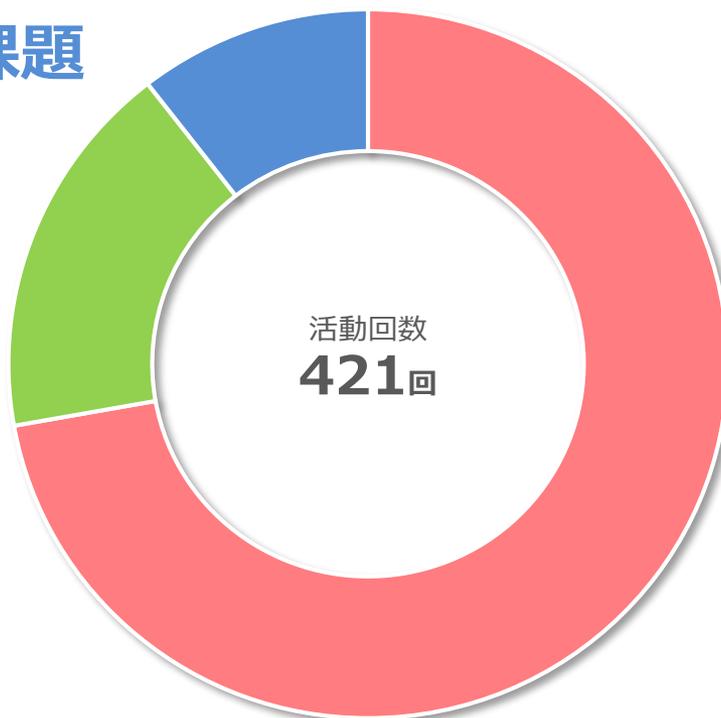
静岡県／磐田市

Jクラブ×社会課題

10.5%

17.3%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

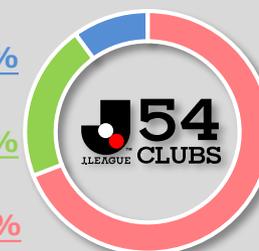
72.2%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

静岡県 / 磐田市

磐田市小学生一斉観戦事業



磐田市、磐田市教育委員会、ジュビロ磐田ホームタウン推進協議会と協力して市内全小学校5～6年生をヤマハスタジアムへ招待し、一斉観戦を行っています。

【目的】

- ① スポーツに関心を持つきっかけ作りとする
- ② チームへの愛着はもとより、磐田市をふるさととして誇りに想うこと
- ③ 将来にわたって郷土を愛する気持ちを育むこと

磐田学園とのふれあい活動



学校訪問の一環として、ジュビロ磐田選手会が、福祉型入所施設『磐田学園』を訪問して子どもたちとのふれあい活動を行いました。2014年より子どもたち約50人をヤマハスタジアムへ招待し、交流を続けています。

藤枝MYFC（活動領域分布）



ホームタウン

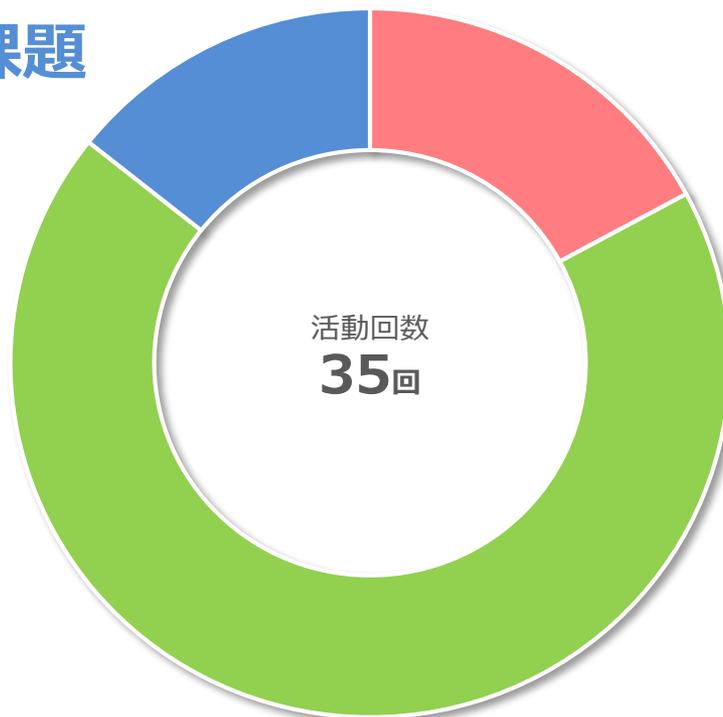
静岡県／藤枝市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町

Jクラブ×社会課題

14.3%

68.6%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

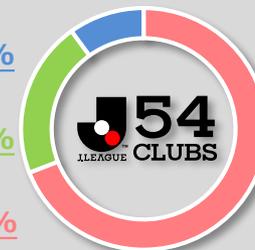
17.1%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

静岡県／藤枝市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町

放課後児童クラブ訪問



各小学校内に設置されている放課後児童クラブに選手が順に訪問しています。「おやつ→読み聞かせ・ボール遊び・サッカー→サイン会・触れ合い」といった各クラブのリクエストをもとに90分子どもたちと一緒に過ごします。

藤枝MYFC CUP



障がいをもつ方が通所する施設対抗のフットサル大会に選手が参加しています。2017年で4回目となった大会に、100名の参加者が集まり、選手10名は各チームに分かれ、一緒にフットサルを行い、終了後ファンサービスで盛り上がりました。

アスルクラロ沼津 (活動領域分布)



ホームタウン

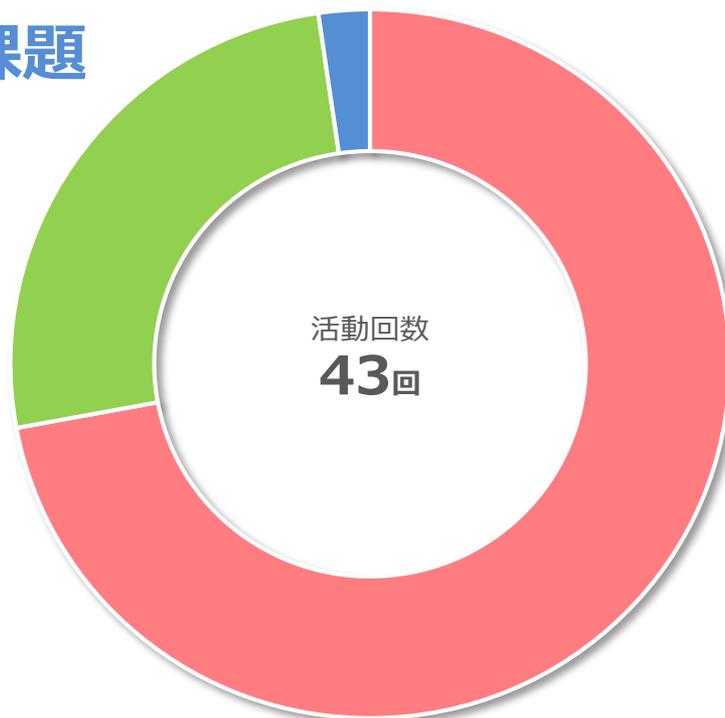
静岡県 / 沼津市

Jクラブ×社会課題

2.3%

25.6%

Jクラブ×地域振興



活動回数
43回

スポーツ×健康

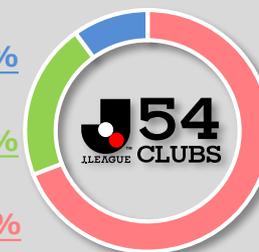
72.1%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

静岡県 / 沼津市

パラサイクリング



2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて唯一静岡県内で開催される、自転車競技とのコラボ企画です。

2017年7月9日、アスクラロ沼津VS長野パルセイロ戦において、パラサイクリング競技および選手のPR活動を行ないました。

沼津大瀬祭り



沼津港の伝統行事であるお祭りに参加し、船には大漁旗とチームフラッグをあげ、2017年の大漁祈願と必勝祈願を行ないました。

名古屋グランパス（活動領域分布）



ホームタウン

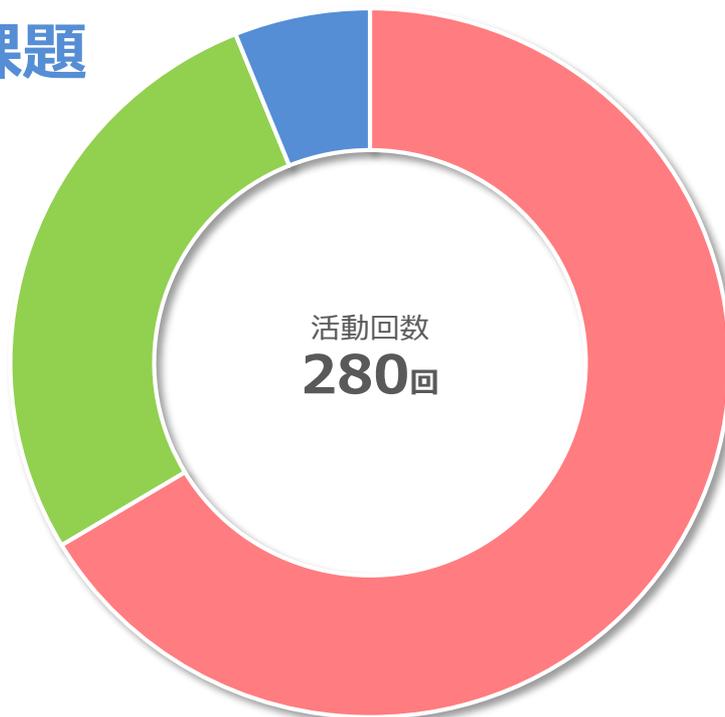
愛知県／名古屋市、豊田市、みよし市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

6.1%

27.5%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

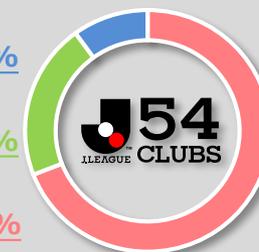
66.4%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

愛知県／名古屋市、豊田市、みよし市を中心とする全県

名古屋市と豊田市が初の連携応援企画 ～「グランパスの勝利のため、 皆（みな）声（こえ）をひとつに」



8/6（日）に愛媛FC戦、8/12（土）に松本山雅戦と2週連続のホームゲームにおいて、J1復帰に向けて、夏の天王山となるこの2戦を盛り上げるため、ホームスタジアムを持つ名古屋市と豊田市が合同で応援幕を制作し、両市一体となって名古屋グランパスを後押しいただきました。

【応援幕のコンセプト】

- ・両市が別々の応援幕に激励メッセージを集め、2つの幕を合わせることで名古屋グランパスのエンブレムが完成し、ひとつの幕になる。
- ・両市からの激励メッセージに対して選手からのコメントおよびサインを加え、双方向のコミュニケーションを実現

A I C H I 脱フースト グランパスくんリフレクターを ホームタウンの小学生へ配布



トヨタグループ10社に協賛いただき、グランパスくんリフレクターを15万個制作し、ホームタウンである名古屋市・豊田市・みよし市の全小学生を対象に配布しました。そして、7月11日（火）には夏の交通安全県民運動・市民運動（7月11日～20日）にあわせ、玉田圭司選手と松本孝平選手が名古屋市立名城小学校を訪問し、リフレクターを生徒たちに贈呈するとともに、愛知県警察交通安全教育チーム「あゆみ」による交通安全教室に特別参加しました。



F C 岐阜 (活動領域分布)



ホームタウン

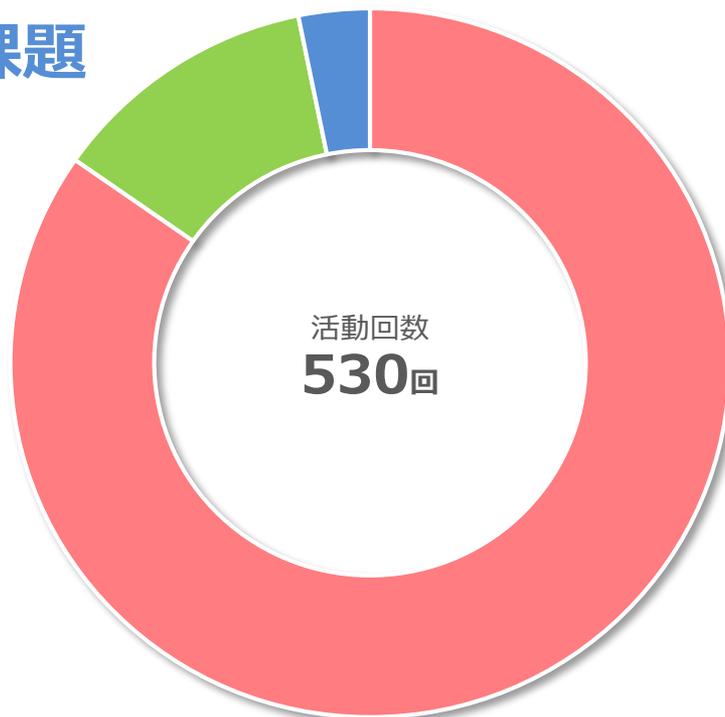
岐阜県/岐阜市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

3.2%

12.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

84.7%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

岐阜県／岐阜市を中心とする全県

キャラバン健康体操教室



F C 岐阜では、岐阜市内24施設(1施設3回)のデイケアセンターや高齢者施設を巡回し、健康体操教室を開催しています。この健康体操教室では、頭の体操やボールを使ったストレッチなど高齢者でも楽しく行える運動プログラムを実施しています。

児童養護施設巡回サッカー教室



岐阜県内の児童養護施設(7施設)を訪問し、巡回サッカー教室を開催しました。活動では、岐阜県と協力し、「児童虐待防止運動-オレンジリボン運動-」の啓発活動も合わせて、実施しました。

かけっこ教室



岐阜県内の陸上競技場やホームゲームで、和田達哉選手(陸上選手・岐阜県出身)とF C 岐阜かけっこ教室を初開催しました。サッカーだけでなく、様々なスポーツをする子どもたちが、毎回100名程度集まり、「正しい走り方」の指導を受けました。

F C 岐阜水泳教室



岐阜市鷺山小学校の5、6年生160名を対象に、F C 岐阜水泳教室を開催しました。小長谷研二選手(リオオリンピック競泳 400メートルメドレー 8位入賞)と糸井統コーチ(オリンピック2回出場)が直接子どもたちに水泳指導を行いました。



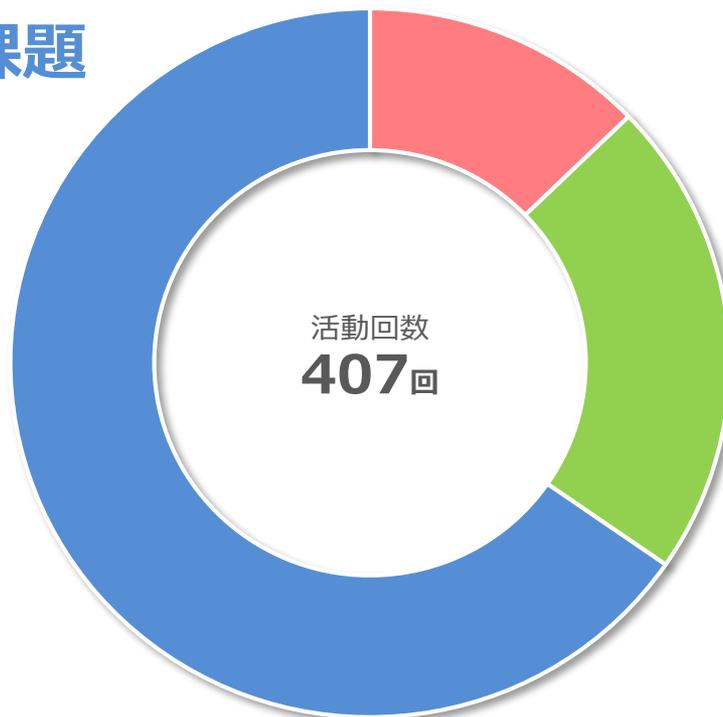
ホームタウン

京都府／京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、京田辺市、木津川市、亀岡市、南丹市、京丹波町

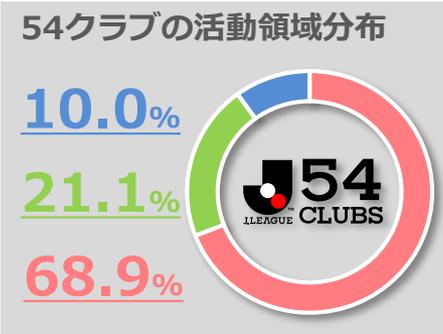
Jクラブ×社会課題
65.4%

21.9%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康
12.8%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

京都府／京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、京田辺市、木津川市、亀岡市、南丹市、京丹波町

選手がホームタウンを訪問



クラブ発行のフリーペーパーの企画「ホームタウンでヤッテQ」。選手がホームタウン各地を訪問し伝統産業や特産物などを紹介しました。

亀岡でトレーニングマッチを実施



新スタジアム建設地の亀岡でトップチームのトレーニングマッチを行い、選手参加のサッカー教室やふれあいなどを実施しました。

ガンバ大阪 (活動領域分布)



ホームタウン

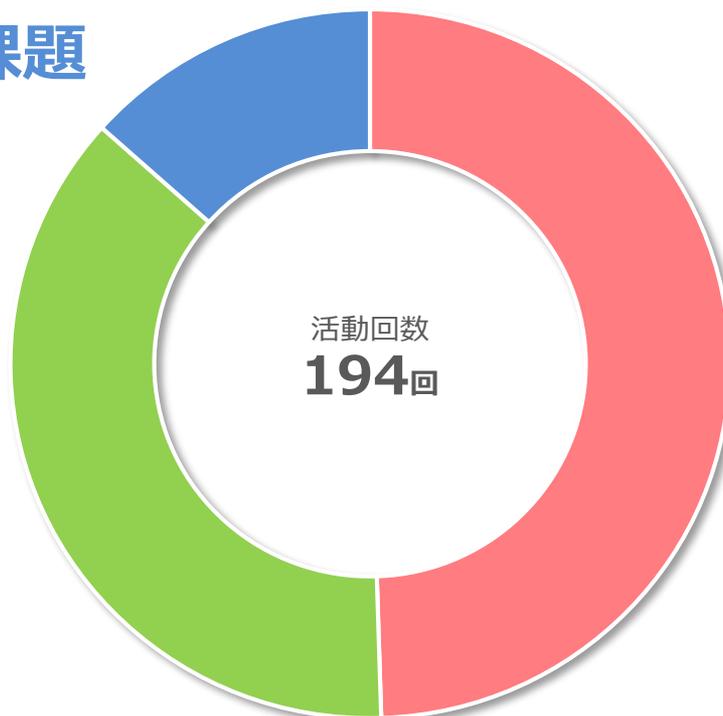
大阪府／吹田市、茨木市、高槻市、豊中市、摂津市、池田市、箕面市

Jクラブ×社会課題

13.4%

37.1%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

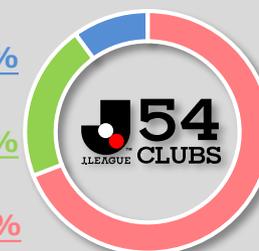
49.5%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

大阪府／吹田市、茨木市、高槻市、豊中市、摂津市、池田市、箕面市

精神障がい者サッカー・フットサル 「Gスカンビオ」



2008年からJリーグの助成を受けて、精神障がい者スポーツ「Gスカンビオ」(フットサル)に取り組んでいます。「スカンビオ」とはイタリア語で「交流」を意味し、スポーツによる「交流」を通じて精神障がい者の社会復帰を後押しする活動を行っています。毎年初夏には「ガンバ大阪スカンビオ関西交流大会」を、秋には「ガンバ大阪スカンビオカップ」を開催しています。社会復帰を目指す参加者にとって、勝つことはもちろん、屋外で体を動かすこと、仲間と協力すること、対戦相手を思いやることは非常に効果があるとされています。ガンバ大阪から始まったこの活動は、全国各地に広がりを見せ、Jリーグ百年構想を具現化した活動の一つとして注目されています。

スタジアムへの社会科見学 (サッカー・防災体験)



ホームタウンの吹田市・吹田市教育委員会と連携し、2016年より「市民ふれあい事業 夢と希望を広げる出会い～未来への備え～inスタジアム」として、市内公立小学校4年生を対象に、社会科見学としてスタジアムに来ていただいています。この事業では、「スタジアムを体感することで街への愛着と誇りを育むこと」、「プロとして活躍した選手やコーチとふれあうことで夢を持って努力することや、将来の生き方について考える機会を提供し、豊かで生きがいを感じる生活の創造へ寄与すること」、「災害時の防災拠点となるスタジアムで、備蓄物資の保管等、災害時における備えを学び、段ボールベッドの組み立て体験を通じて防災意識の向上を図ること」の3つを目的として実施しています。2017年には約2,000名の児童が参加しました。ユースの實好監督の講話に耳を傾け、スタジアムのピッチでもサッカー体験を行い、災害時の拠点となるスタジアムで、段ボールベッドの組立て体験を行いました。

セレッソ大阪（活動領域分布）



ホームタウン

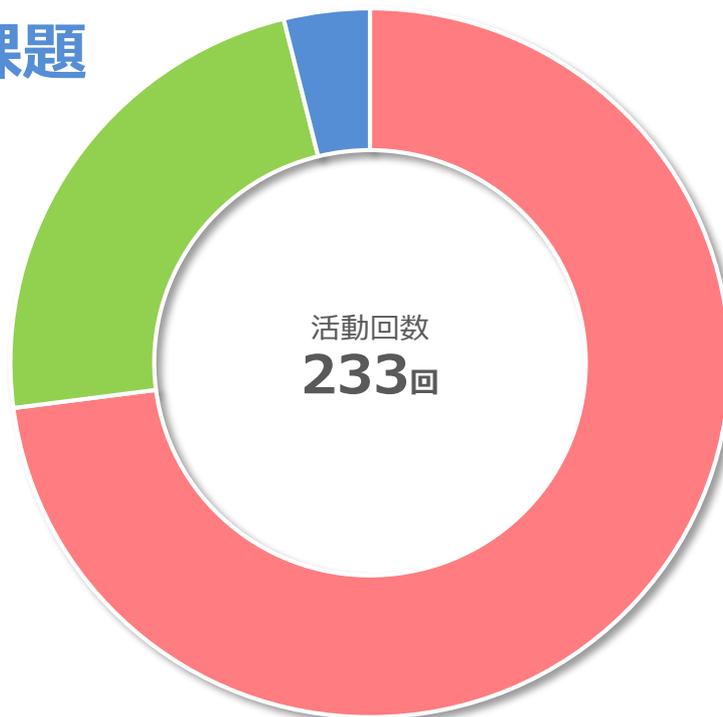
大阪府／大阪市、堺市

Jクラブ×社会課題

3.9%

23.2%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

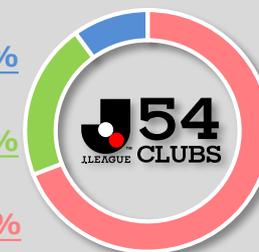
73.0%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

大阪府／大阪市、堺市

舞洲プロジェクト



大阪港の舞洲スポーツアイランドを拠点とする大阪エヴェッサ（Bリーグ）、オリックス・バファローズ（プロ野球）、大阪市と共に地元のスポーツチームをもっと身近に感じていただける活動、イベントを展開して舞洲の地域活性を目指しています。

大阪市との連携事業 「体力向上モデル校講習会」



大阪市が取り組んでいる「子どもの体力向上推進事業」の一環である「体力向上モデル校講習会（地域連携）」にセレッソ大阪も参画し、3～4回／年コーチを派遣しています。

ヴィッセル神戸 (活動領域分布)



ホームタウン

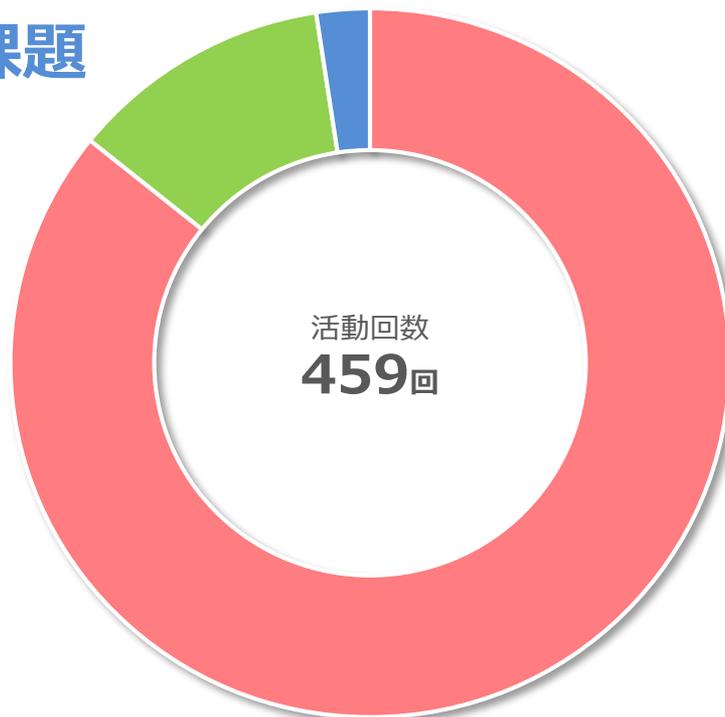
兵庫県 / 神戸市

Jクラブ×社会課題

2.4%

11.8%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

85.8%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

兵庫県 / 神戸市

明石市 小学校訪問授業 「夢で逢えたら」



3月9日(木)、明石市立朝霧小学校で、選手による訪問授業「夢で逢えたら」を実施しました。この授業は、プロサッカー選手という夢を実現した選手の話を通して、子供たちに夢を持つことの大切さを教え、夢の実現を後押しすることを目的に実施しています。

ピンクリボン街頭キャンペーン2017



10月1日(日)に行われた「ピンクリボン街頭キャンペーン」に、モーヴィとヴィッセルセレイアが参加しました。啓発活動を行っている際、「お母さんにも渡します」とピンクリボンバッジを手にとられる女性の方や、小さなお子さんがお母さんに渡す姿を目にすることができ、この活動が浸透していく様子を改めて確認することができました。そしてまた、この日の活動に参加して本当に良かったと感じました。

ガイナレ鳥取 (活動領域分布)



ホームタウン

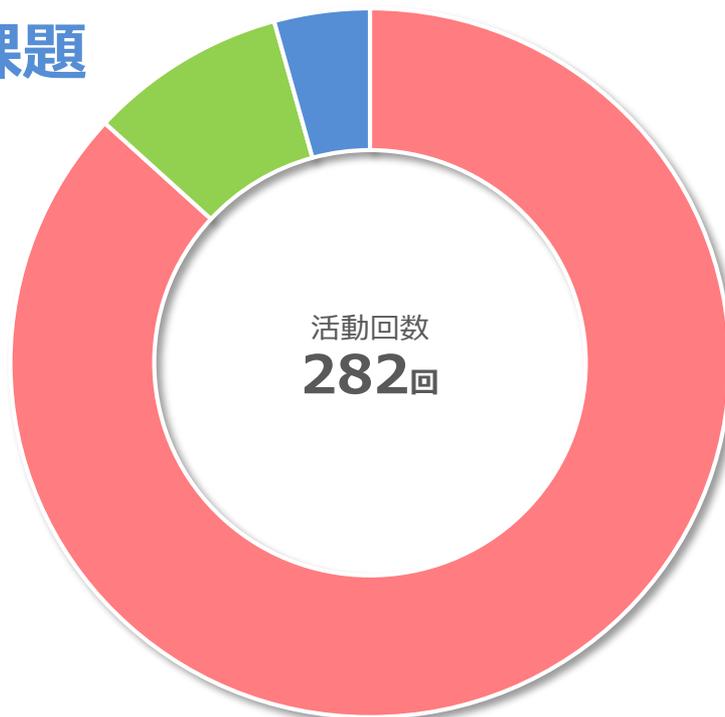
鳥取県／鳥取市、米子市、倉吉市、境港市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

4.3%

8.9%

Jクラブ×地域振興



活動回数
282回

スポーツ×健康

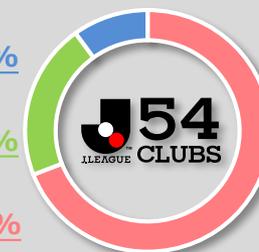
86.9%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

ガイナレ鳥取 (トピックス)



ホームタウン

鳥取県／鳥取市、米子市、倉吉市、境港市を中心とする全県

『復活！公園遊び』 (ガイナレ鳥取普及・巡回活動)



ガイナレ鳥取では、選手やスタッフが地域の子もたちと昔懐かしい様々な遊びやサッカーを通じた交流活動を実施しています。子どもたちが思い切り身体を動かすことの楽しさや人と関わる喜びを感じることができれば、そして素敵な笑顔に出会えたらと願い、“こどもたちのみらい ふるさとのみらい”を合い言葉に交流活動をしています。また、私たち選手やスタッフも地域との交流活動を通して、たくさんの元気と気づきをいただきながら、ともに成長していけたらと願っています。

『みんなで！ガイナマン体操』



ガイナレ鳥取のマスコット“ガイナマン”が踊る「ガイナマン体操」は、ホームゲームの盛り上げや、ホームタウンである鳥取県の魅力を広くPRするために2014年に誕生しました。

『みんなでガイナマン体操』の収録も2014年よりスタートし、子どもたちの健康づくり、身体づくりにも役立ててもらうため、鳥取県内の保育園や幼稚園にガイナマンが訪問し、子どもたちと一緒に元気いっぱい、笑顔いっぱいのガイナマン体操を行なっています。

ファジアーノ岡山 (活動領域分布)



ホームタウン

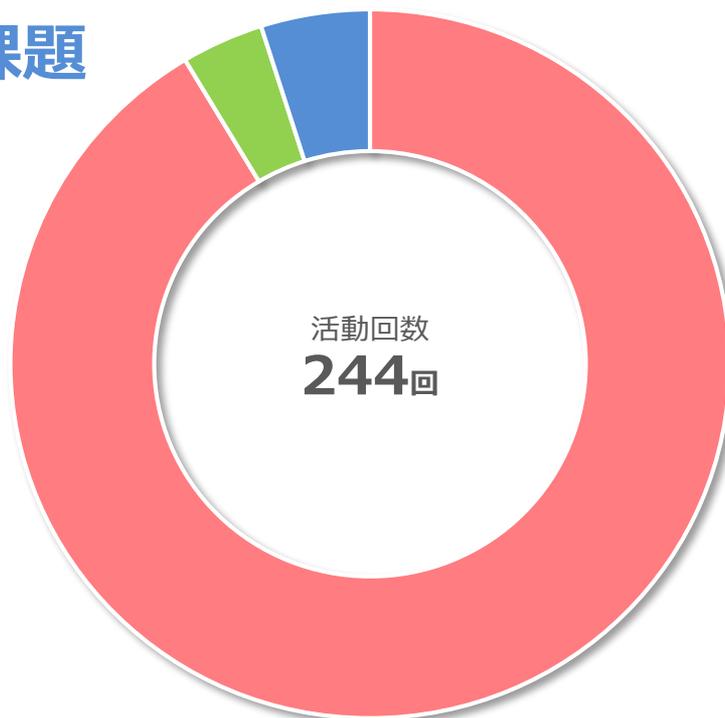
岡山県/岡山市、倉敷市、津山市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

4.9%

3.7%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

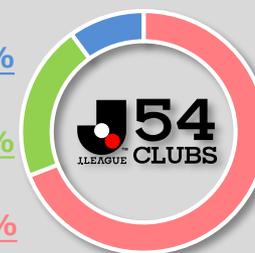
91.4%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

岡山県／岡山市、倉敷市、津山市を中心とする全県

岡山市内全小学校への全選手一斉訪問



ファジアーノ岡山の理念「子どもたちに夢を！」の具体的な活動指針である「最高の選手と子どもたちが仲間になる」を具現化する試みとして、2017年に初めて岡山市内の全小学校で選手と児童がふれあうことを目指す事業を開始しました。岡山市内93校（分校を除く）のうち、2017年度の実施校は63校となり、7,080名の児童と選手がふれあいました。本事業は継続事業として2018年度以降も取り組み、選手が毎年訪問することで、まずは岡山市内の小学校に通う全児童とふれあうこと、そして今後は岡山市内だけではなく、選手が岡山県全域の子どもたちとふれあう事業の展開を目指します。

サッカー教室（選手・コーチ派遣）



選手やコーチが、幼稚園や小学校、スポーツ少年団などで、サッカー教室を実施しています。2017シーズンは、約150回、延べ10,000名以上の子どもたちと交流できました。また、小学校現場でのサッカー実技指導の知識・技術向上を目的に、岡山市小学校体育連盟と協働し、小学校教員の皆さまを対象としたサッカー実技研修会も初めて実施しました。今後もサッカー教室を通じたふれあいの中で、学校との交流を進めていきます。

サンフレッチェ広島（活動領域分布）



ホームタウン

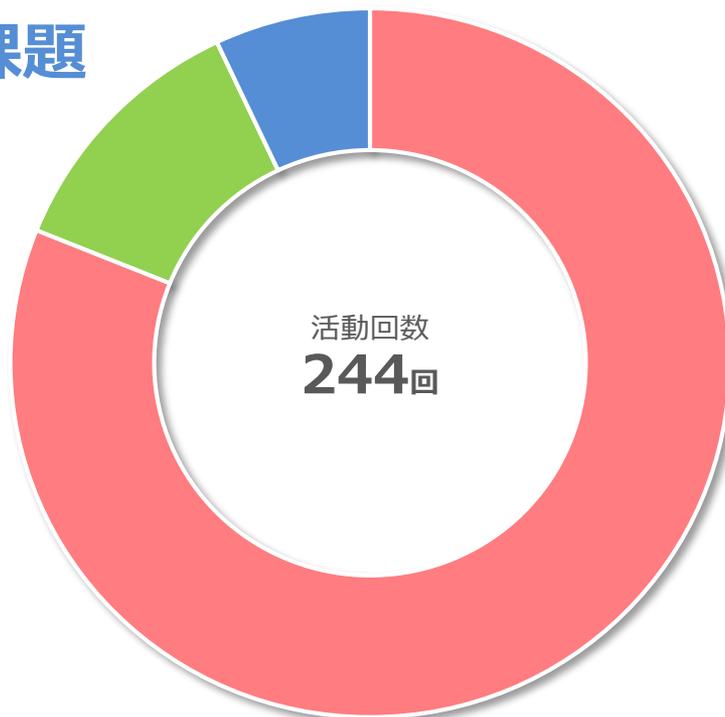
広島県／広島市

Jクラブ×社会課題

7.0%

11.9%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

81.1%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

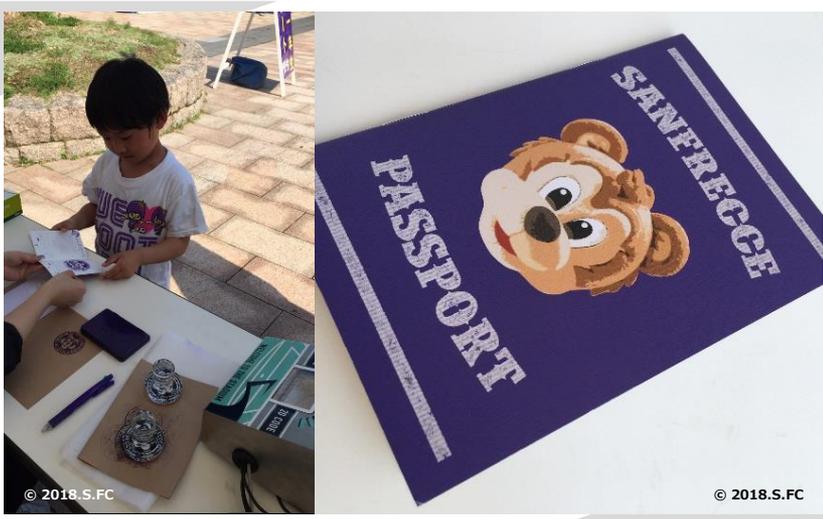
*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

広島県 / 広島市

小学1年生パスポート事業



新小学1年生を対象に、入学後のホームゲームが無料観戦できるパスポートを発行し、スタジアムに招待します。

サンチェキャラバン



マスコットキャラクターの『サンチェ』が県内の保育園・幼稚園を巡回し、サンチェ体操と一緒に踊ります。

レノファ山口FC (活動領域分布)



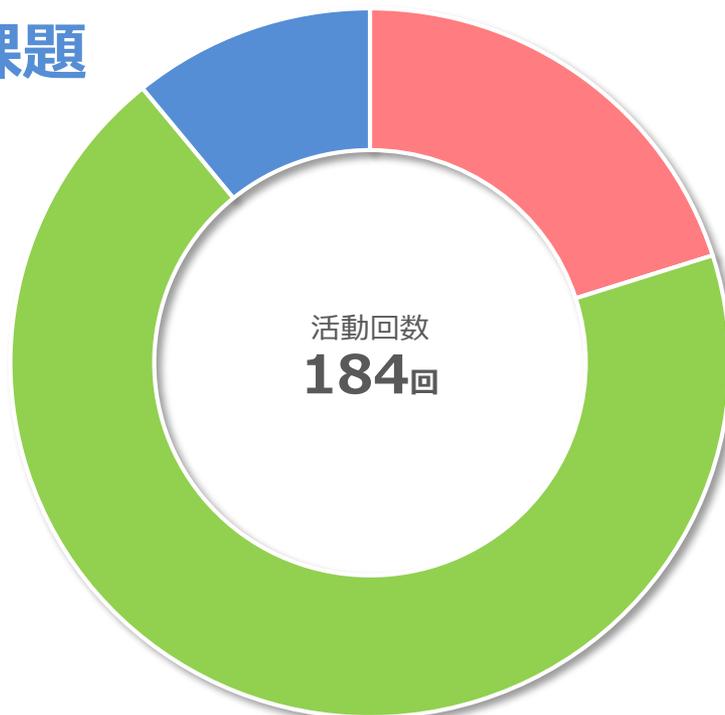
ホームタウン

山口市・下関市・山陽小野田市・宇部市・防府市・周南市・美祢市・萩市・下松市・岩国市・光市・長門市・柳井市・周防大島町・和木町・上関町・田布施町・平生町・阿武町 【山口県全県】

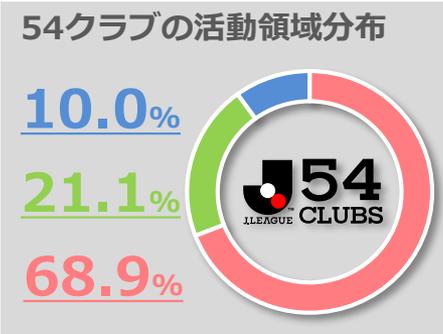
Jクラブ×社会課題
10.9%

69.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康
20.1%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

山口市・下関市・山陽小野田市・宇部市・防府市・周南市・美祢市・萩市・下松市・岩国市・光市・長門市・柳井市・周防大島町・和木町・上関町・田布施町・平生町・阿武町 【山口県全県】

宇部まちなかにぎわい創出活動



シャッター商店街と呼ばれている宇部市・中央町三丁目の再興を自治体とクラブが協力して行っている活動です。その第一弾イベントとして、「うべまちなかオレンジフェスタ」を開催。レノファ山口が宇部まちなかにぎわい特命大使としてお披露目された他、選手と子どもたちが参加してのリフティング大会、お菓子まき、ゲーフラ作成教室などで普段あまり人通りのない中央町三丁目・銀天街が約1,000人の来場者でにぎわいました。

レノ丸のモザイクアート製作



小野田青年会議所が小学生を対象にふるさとの魅力について実施したアンケートを基にきららビーチ焼野でサッカーボールを蹴るレノ丸のモザイクアートを製作しました。時代を担う児童たちがふるさとの魅力に触れながら、小さな力が結集することで大きな結果を生み出すことを学び、ふるさとの明るい未来を創造してもらおうと小野田青年会議所が企画した事業で、レノファ山口から選手・マスコットが参加し、山陽小野田市の小学生と一緒にモザイクアートを製作しました。

カマタマーレ讃岐 (活動領域分布)



ホームタウン

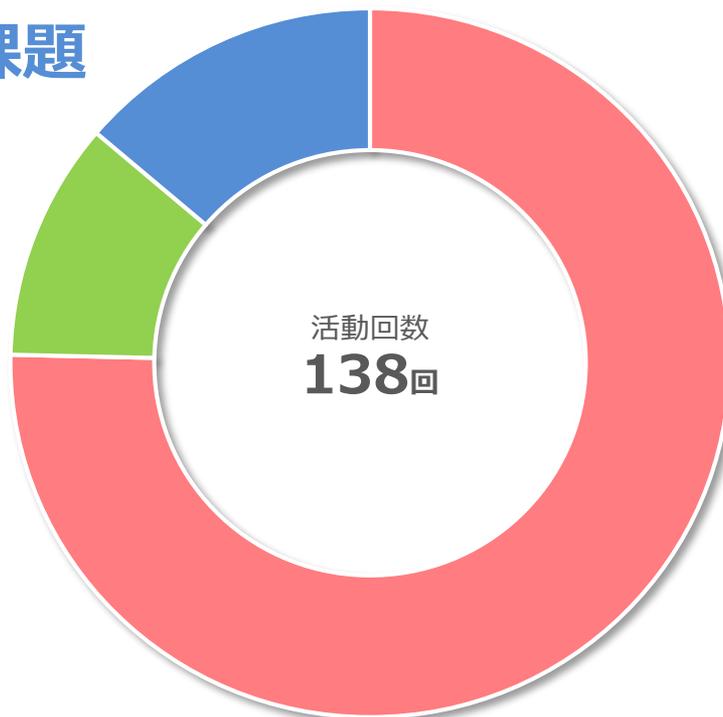
香川県／高松市、丸亀市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

13.8%

10.9%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

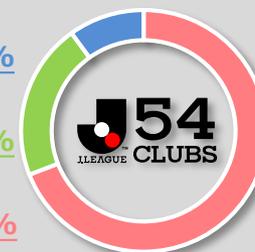
75.4%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

香川県／高松市、丸亀市を中心とする全県

選手施設訪問事業



11/1 (水) 香川県立高松養護学校 (高松市) に、選手4名とアカデミースタッフ1名が訪問し、児童113名を対象にボールなどを使用して触れ合いを実施しました。また最後には児童達から素晴らしいエールをいただきました。参加していただいた児童は11/5ホームゲームに招待し、選手を目の前にして感極まって泣いてしまう児童もあり、選手にとっても自分の置かれている立場や価値を再確認できた時間になったのではないのでしょうか。

海ゴミ拾ったーレ讃岐 (海ゴミ探検隊・ゴミ拾いイベント)



1/22 (日) 芝山マリランド (高松市) にて。1年に1回継続的に実施しているイベントです。選手2名とアカデミースタッフ2名が参加し、小学生を対象にサッカー教室を実施した後に、瀬戸内海の家ゴミについて学び、参加者と一緒にゴミを拾い集め、触れ合いながら地元の今置かれている環境の問題など理解する時間となりました。

徳島ヴォルティス (活動領域分布)



ホームタウン

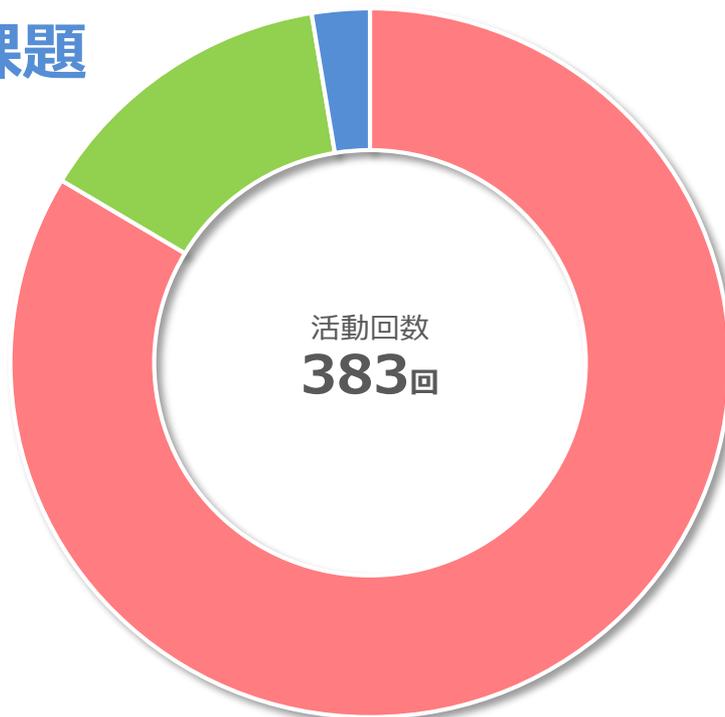
徳島県／徳島市、鳴門市、美馬市、板野町、松茂町、藍住町、北島町、吉野川市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

2.6%

13.8%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

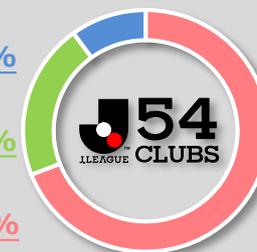
83.6%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

徳島県／徳島市、鳴門市、美馬市、板野町、松茂町、藍住町、北島町、吉野川市を中心とする全県

ヴォルティスができる 地域の課題・解決策①

－廃校・休校のグラウンド活用－



Jリーグ百年構想にもある、【あなたの町に、緑の芝生におおわれた広場やスポーツ施設をつくること】を目的として、近年、徳島県も少子化による生徒数の減少や市町村の合併により、多くの学校が廃校や休校になっている現状を踏まえ、その地域の方々にとってのシンボリック的存在であり、身近な公共施設でもある学校（廃校・休校）のグラウンドを利用し、地域の方々と一緒に芝生の植付けを提案し、実施しました。当日は、地元の方々150名と一緒にティフトン芝を植え、3ヶ月後には緑の芝生で子どもたちがサッカーを、シニアの方々がグラウンドゴルフで汗を流されるようになりました。また、ここはドクターヘリの発着場でもあり、今までは砂埃がひどかったが、芝生化により全く砂埃が立たなくなり、こちらも地元の方々にとっても喜ばれています。

ヴォルティスができる 地域の課題・解決策②

－「スマイルアップ教室」の実施－



徳島県が抱える地域の課題とは何か。
一つめは、「園児・児童：子どもの運動不足・肥満対策」二つめは「子育て世代：親子のコミュニケーション不足」そして三つめは「元気なシニア世代：高齢化対策、医療費高騰の解決策」。
この方々を対象に「スマイルアップ教室」を立ち上げ、「明るく・楽しく・アツク」をキーワードにスポーツを通して世代を超えた触れ合いの輪を広げていくことを目的としています。
サッカーを強調するのではなく、特に、元気なシニア世代の方々の教室では、ゆる～い体操、ゆる～い運動、ストレッチ等を取り入れ、どなたにでも楽しむことができ、終了後にはみなさんが笑顔あふれるメニューに取り組んでいます。

愛媛 F C (活動領域分布)



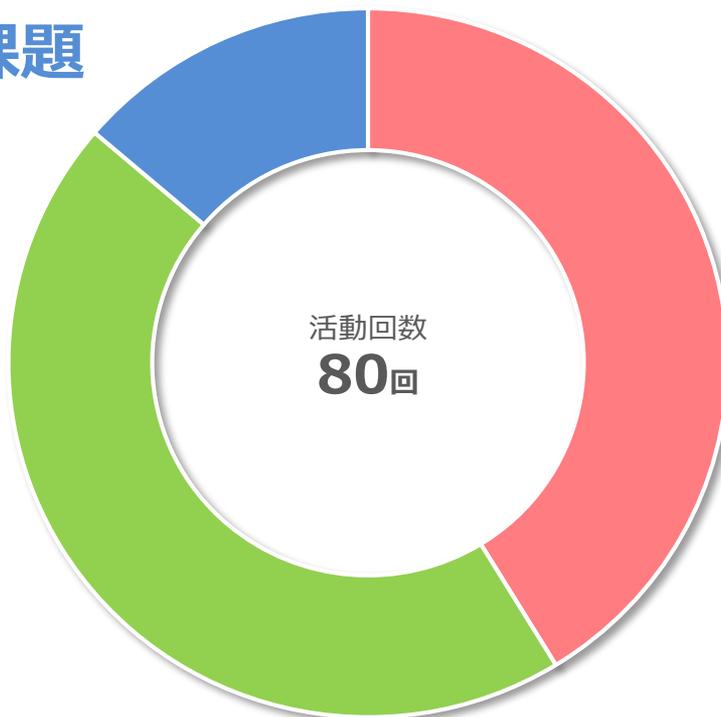
ホームタウン

愛媛県／松山市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題
13.8%

45.0%

Jクラブ×地域振興



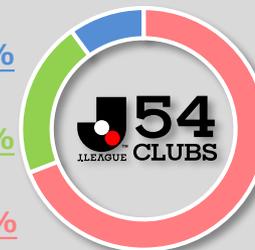
スポーツ×健康
41.3%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

愛媛県／松山市を中心とする全県

2月20日@しげのぶ特別支援学校訪問



学校訪問の一環。小学校から応援に来てくれていた子供が、なんと重信特別支援学校高等部の生徒会長になり愛媛FCを学校内で広めてくれ、多くの学生が試合観戦に来るようになりました。またその学校内で、みんなに働きかけ、車いすサッカーの授業も行われるようになりました。その学生(大林翔平君)が、卒業を迎えるということで、サプライズで選手による、電動車いすサッカー授業に参加し交流しました！

7月5日@三浦工業社にて健康経営



昨今流行りの、企業と地元スポーツチームがコラボしながら、企業社員の健康促進を図る活動の一環として、愛媛FCのユニホームスポンサーである三浦工業に選手2名とフィジカルコーチが訪問しました。社員の健康に繋がる運動を行うと同時に、選手とも交流を図り、試合観戦の醸成を図りました。今シーズンも、他企業にて実施予定で、スタジアムに観戦来場の際も、レクリエーションをできるような流れを画策中です。

アビスパ福岡（活動領域分布）



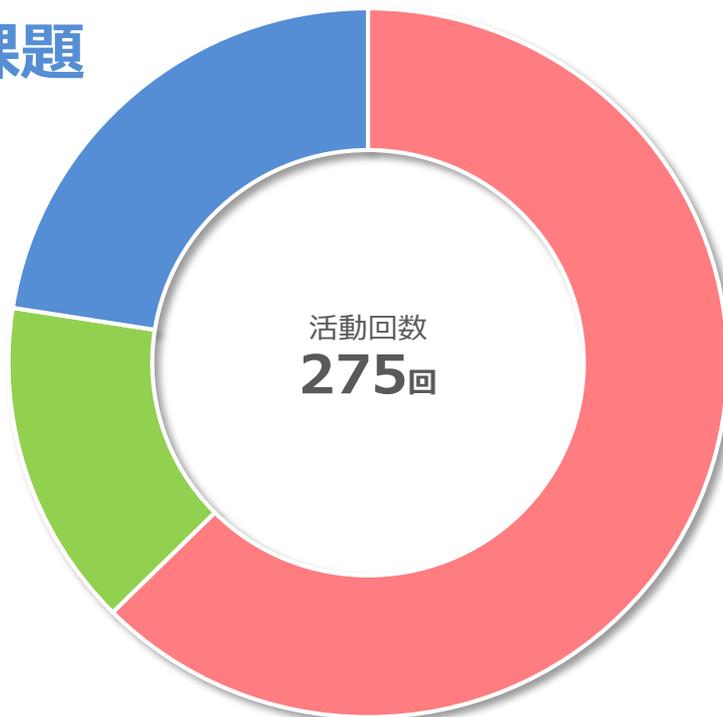
ホームタウン

福岡県／福岡市

Jクラブ×社会課題
22.5%

14.9%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康
62.5%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

福岡県／福岡市

ブラインドサッカー支援



目の見えない選手、視力が弱い選手、視覚に障がいがある選手たちがプレーするブラインドサッカーはボールから聞こえる音をたよりに試合をします。選手たちはみんながけがをしないように「ホイ！」と声を出したり、コーラーと呼ばれる目の見える人の声を聞いてゴールを目指します。アビスパ福岡は、同じ福岡のブラインドサッカーチーム「ラッキーストライカーズ福岡」をサポートしています。

健康づくり地域交流フェスタ



地域における人口の高齢化および少子化等に対応するための事業の一環として、政令市を除く福岡県内の市町村を対象としたイベントです。世代間交流と健康増進を図ることを目的としており、2017年は14の自治体で開催しました。

ギラヴァンツ北九州 (活動領域分布)



ホームタウン

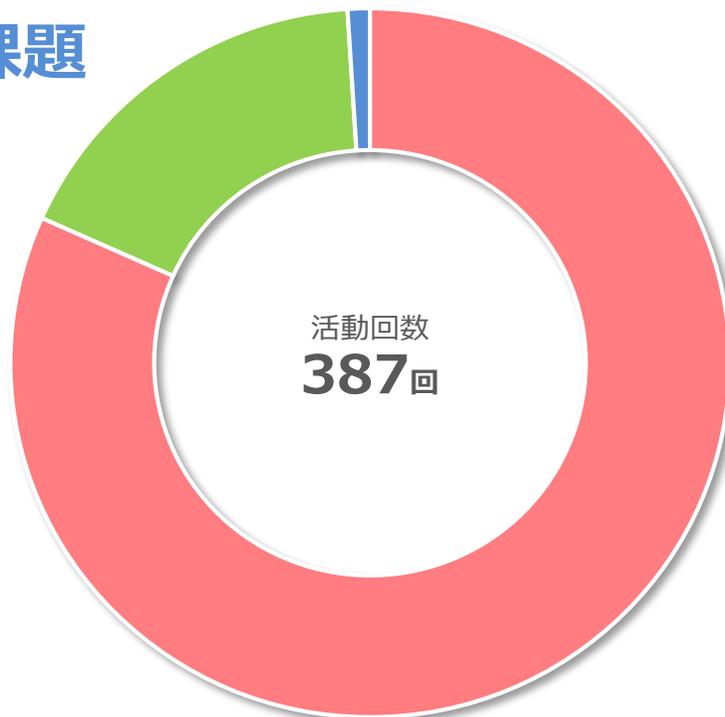
福岡県/北九州市

Jクラブ×社会課題

1.0%

17.3%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

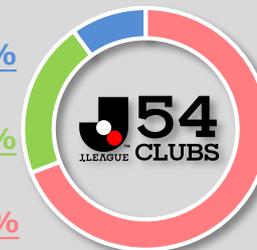
81.7%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

ギラヴァンツ北九州 (トピックス)



ホームタウン

福岡県／北九州市

スクール☆ギラヴァンツ



選手による小学校訪問活動です。

まず5時間目に、体育館でいっしょにゲームをして運動の楽しさを感じてもらいながら、緊張を解き、お互いの距離を縮めます。6時間目は、プロになる夢を叶えた選手に質問をしたりお話を聞いたりして「夢を持つことや夢を叶えるために努力することの大切さ」を伝えることを目的にしています。

GOP

(ギラヴァンツ オープンマインド プログラム)



※写真はイメージ写真です。GOP参加者の写真ではありません。

北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぴ」との共同事業
「ひきこもり」からの回復のゴールをアシスト
「観る」 = みんなでいっしょに試合観戦&応援
「する」 = ボールを使ったレクリエーション+サッカー体験
「支える」 = ホームゲームでボランティア体験
この3ステップが経験と自信となり、一步踏み出す勇気につながる

サガン鳥栖 (活動領域分布)



ホームタウン

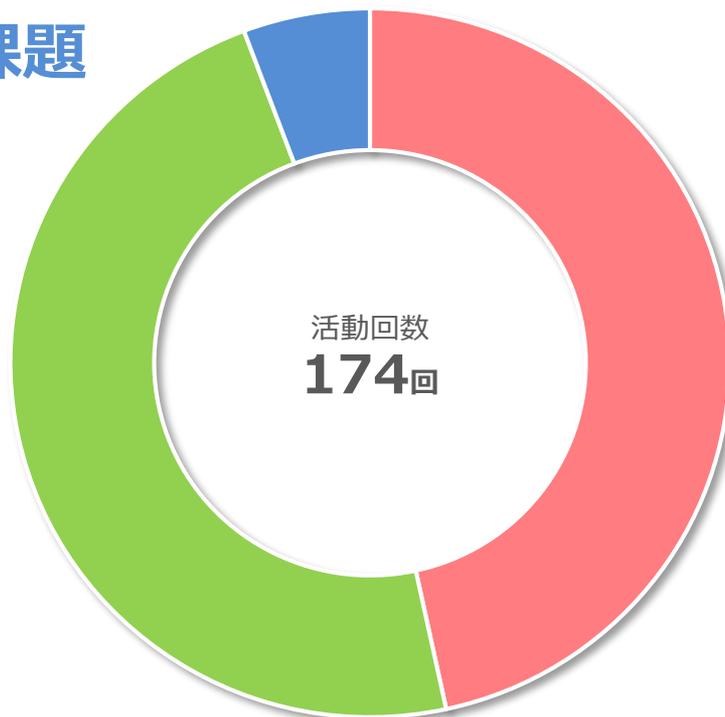
佐賀県 / 鳥栖市

Jクラブ×社会課題

5.7%

47.7%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

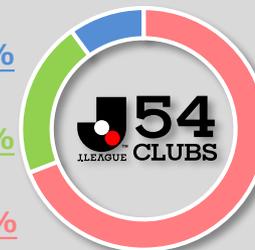
46.6%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

佐賀県 / 鳥栖市

ウイントス君のあいさつ運動



2016年から佐賀県全県下で小学校1年生にウイントスのランドセルカバーが配布されています。「登校時の安全や朝から子供たちを元気に！！」をコンセプトに2016年6月よりウイントス君が朝の登校時に各小学校を訪問し挨拶運動を実施しています。

ウイントスランドセルカバー事業



サガン鳥栖のマスコットキャラクター「ウイントス」がデザインされた、黄色いランドセルカバーを、毎年県内の新小学1年生約8,000人に寄贈しました。新たな門出を迎えた幼い命を交通事故から遠ざけると共に、県民全体でサガン鳥栖を応援する雰囲気醸成しました。ランドセルカバーの贈呈は鳥栖市と三養基郡の新1年生を対象に2014年にスタート。2016年からは佐賀県交通安全協会の県内の人口当たりの交通人身事故発生件数が、全国ワーストとなっていることを受け、サガン・ドリームスと県、県交通安全協会の三者が協力して県内全域に広げ、贈っています。

V・ファーレン長崎（活動領域分布）



ホームタウン

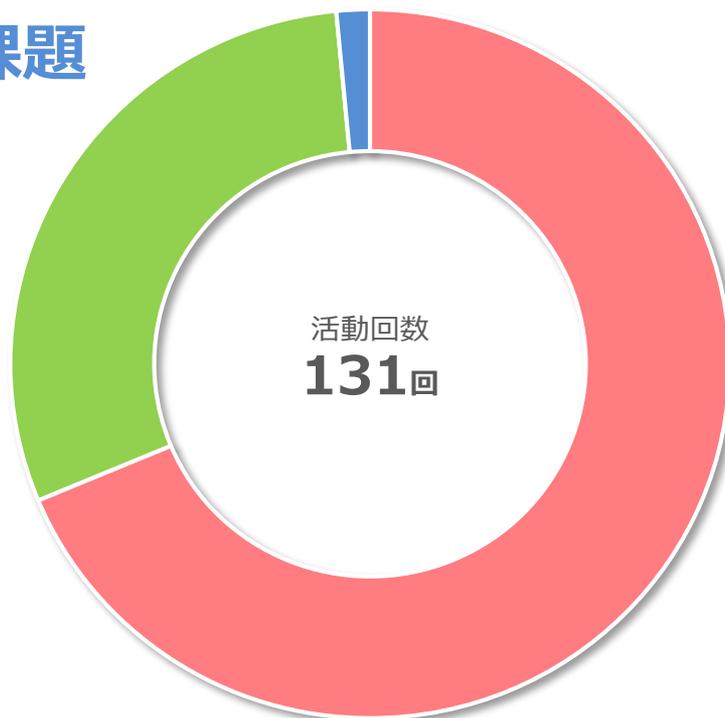
長崎市、諫早市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

1.5%

29.8%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

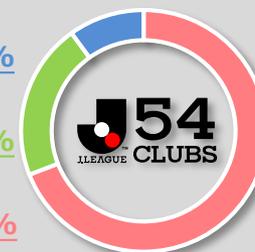
68.7%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。

V・ファーレン長崎 (トピックス)



ホームタウン

長崎市、諫早市を中心とする全県

池島小学校 訪問



長崎市立池島小学校では皆さまに歓迎していただき、教室では全校生徒2名の兄弟とサッカーのこと、選手自身のことをたくさん話をして、笑顔があふれました！

諫早青少年自然の家



運動会が行われていて、その中の綱引きに参加させていただきました。



ホームタウン

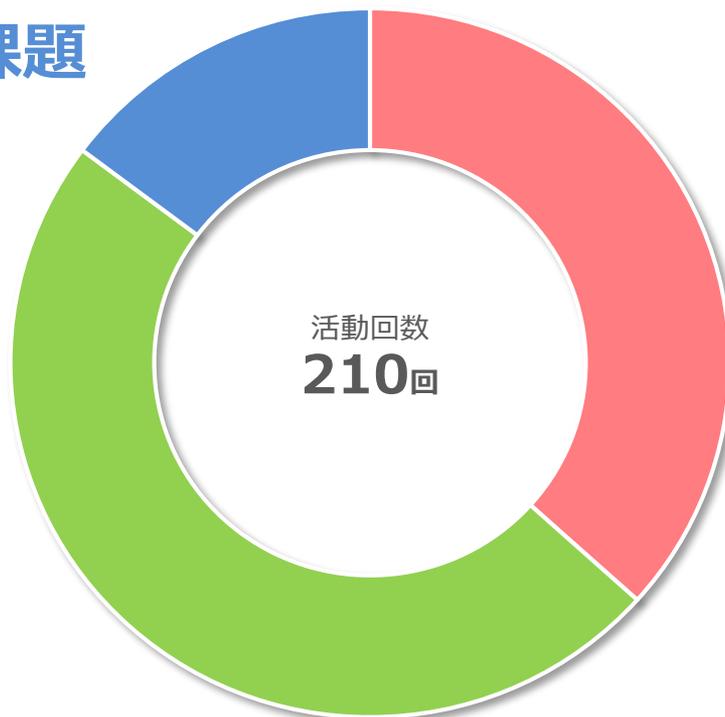
熊本県／熊本市

Jクラブ×社会課題

14.8%

48.6%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

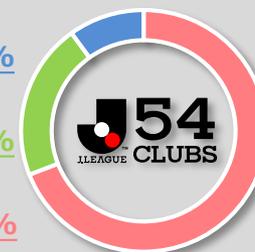
36.7%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

熊本県／熊本市

火の国もりあげタイ！プロジェクト



ロアッソ熊本では、活動方針である「日本一地域に根ざしたクラブづくり」の具体的な取り組みの一環として、『ロアッソ熊本“火の国もりあげタイ！”』プロジェクトを2014年より実施しています。このプロジェクトは、ロアッソ熊本の選手等が行政や地域住民の皆様との交流を図りながら、地域の「まちづくり」や「まちおこし」の応援を行い、県民の皆様と共に熊本を盛り上げていくことを目的とした活動です。

ロアッソ熊本所属の各選手を『ロアッソ熊本“火の国もりあげタイ！”』プロジェクト実施自治体担当選手として任命し、1月～12月までの任期中に様々な形で「地域の魅力」を発信していきます。

「熊本地震」復興支援活動



平成28年4月に発生しました「平成28年熊本地震」により、熊本県内は大きな被害を受けました。引き続き平成29年もロアッソ熊本では、復興支援活動を行ってまいりました。また多くのサッカーファミリーから復興支援に向けたご支援、ご協力をいただきました。多くの皆様のサポートに心より感謝申し上げます。

大分トリニータ（活動領域分布）



ホームタウン

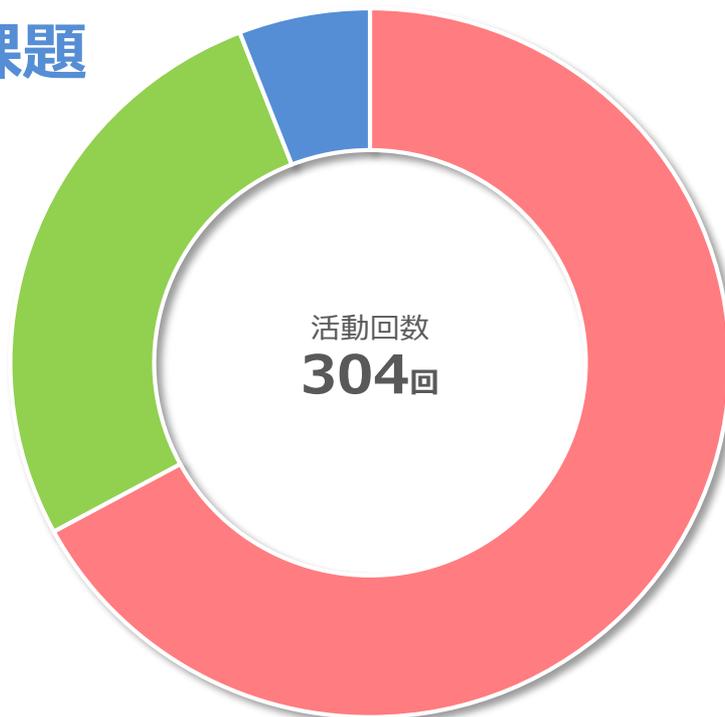
大分県／大分市、別府市、佐伯市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

5.9%

27.0%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

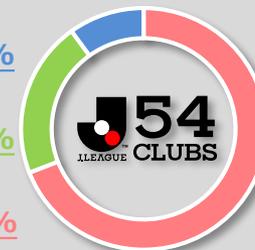
67.1%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

大分県／大分市、別府市、佐伯市を中心とする全県

スポーツオブハートinOITA ノーマライズ駅伝



障がいのある人ない人が当たり前のようにふれあい分かち合う社会をめざすきっかけの1つであるスポーツオブハートのイベントが大分で初開催されました。アスリート枠として大分トリニータの清本選手がノーマライズ駅伝に参加し、いろんな人がお互いの違いを認め、心をひとつに走り、襷とノーマライゼーションの輪を繋いでいくことで清本選手のいる大分市チームが優勝しました。

人権サッカー教室



サッカーを通じて子どもたちにいじめや差別などについて考える機会を持つことで、「仲間」や「思いやり」の大切さについて気付いてもらうことを目的に年5回大分県内の小学校に選手とコーチが行き、サッカー教室を行い、その後、人権擁護委員の方から講話をしてもらい、人権について選手と一緒に子ども達と考える人権サッカー教室を実施しています。

鹿児島ユナイテッドFC (活動領域分布)



ホームタウン

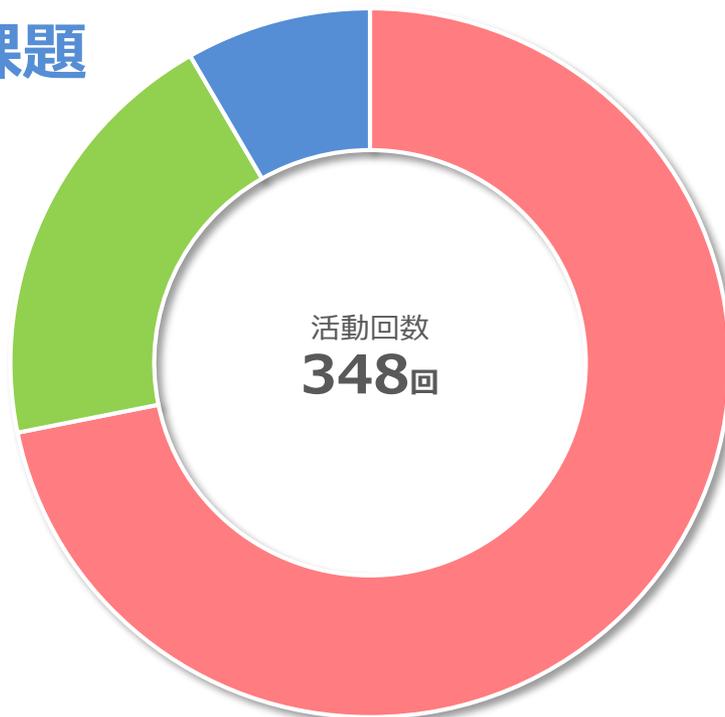
鹿児島県 / 鹿児島市

Jクラブ×社会課題

8.3%

19.8%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

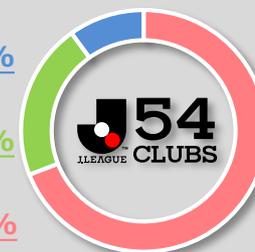
71.8%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

鹿児島県／鹿児島市

離島でのサッカー教室



南北に長い鹿児島県には、多くの離島が点在します。鹿児島県全域を活動領域とする鹿児島ユナイテッドFCは、2015シーズンに日本フットボールリーグ（JFL）ではじめてとなる離島でのリーグ戦を奄美市で開催しました。そして2016シーズンからは日本エアコミューター全面協力のもと、スクールコーチが各離島を訪問してのサッカー教室を行っています。種子島、屋久島、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、そして与論島。元気なサッカー少年少女たちと出会い、島々の風土や文化とも出会う貴重な機会となっております。

今後も鹿児島ユナイテッドFCは離島でのサッカー教室を通じて、島々の存在を鹿児島県内外に発信するお手伝いをしたいと考えております。

児童養護施設のホームゲーム招待事業



鹿児島県には14の児童養護施設があります。鹿児島ユナイテッドFCは2016シーズンに3つの児童養護施設を選手たちが訪問して、いっしょにボールを蹴って遊ぶ機会を設けることができました。そして2017シーズンはスポンサー企業の協賛により、13の児童養護施設で生活する子どもたちをホームゲームに招待しました。子どもたちはマスコット「ゆないくー」とふれあい、ピッチレベルで試合前のアップを見学し、試合を観戦しました。「誰かが訪れてくれることは多いけれど、彼らがこうやって外に出る機会は少ないのでありがたい」というお声をいただきました。

F C 琉球 (活動領域分布)



ホームタウン

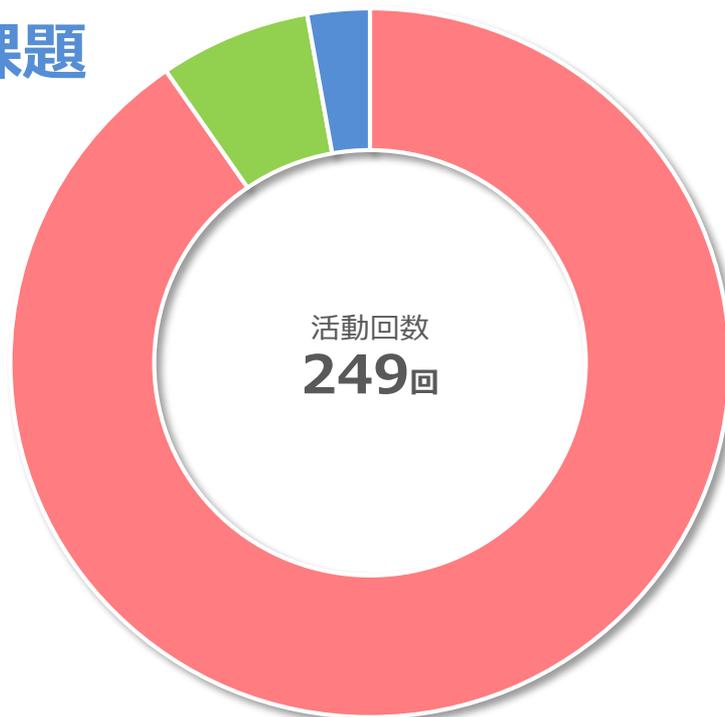
沖縄県／沖縄市を中心とする全県

Jクラブ×社会課題

2.8%

6.8%

Jクラブ×地域振興



スポーツ×健康

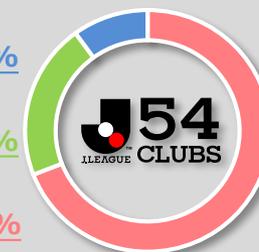
90.4%

54クラブの活動領域分布

10.0%

21.1%

68.9%



*各クラブが実施したホームタウン活動を、クラブからの報告に基づいて集計した参考値です。

*クラブによるカウント方法の違いを調整できていないため、参考値としてご覧ください。

*小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がございます。



ホームタウン

沖縄県／沖縄市を中心とする全県

朝の挨拶運動



沖縄市内の小学校に選手やクラブマスコットのジンベーニョが訪問し、登校する子どもたちに向けた挨拶活動を行っています。地域に根ざしたクラブを目指し、F C 琉球をより身近に感じてもらえるよう、この活動を実施しています。

巡回スクール



F C 琉球では、子どもたちが楽しみながらスポーツをすることを中心に据え、仲間とサッカーをすることによって運動能力やコミュニケーション能力を身につけることを目指し、また、子どもたちをはじめ多くの県民の方々のスポーツへの関心を高め、ホームタウン等地域のスポーツ文化の振興に貢献する事を目的に幼稚園・保育園など対象に沖縄県内でサッカー巡回教室を行っています。

ありがとうございます。

本件に関するお問い合わせ

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
社会連携部